

産業別統計総括表（従業者4人以上の事業所）

（単位：人、%、百万円）

産 業	事業所数				従業者数				製造品出荷額等				現金給与総額				原材料使用額等				付加価値額				産業
	21年		22年		21年		22年		21年		22年		21年		22年		21年		22年		21年		22年		
	実数	実数	構成比	前年比	実数	実数	構成比	前年比	実数	実数	構成比	前年比	実数	実数	構成比	前年比	実数	実数	構成比	前年比	実数	実数	構成比	前年比	
総 数	977	951	100.0	△ 2.7	34,557	34,273	100.0	△ 0.8	853,198	842,771	100.0	△ 1.2	110,933	116,226	100.0	4.8	505,286	538,618	100.0	6.6	237,906	264,326	100.0	11.1	総数
09 食 料 品	199	201	21.1	1.0	7,373	7,261	21.2	△ 1.5	118,334	120,216	14.3	1.6	18,508	18,660	16.1	0.8	76,921	74,148	13.8	△ 3.6	37,164	40,950	15.5	10.2	09
10 飲料・たばこ・飼料	37	34	3.6	△ 8.1	746	546	1.6	△ 26.8	87,236	12,092	1.4	△ 86.1	3,181	1,822	1.6	△ 42.7	15,908	4,944	0.9	△ 68.9	8,653	5,525	2.1	△ 36.1	10
11 織 維	96	85	8.9	△ 11.5	3,171	2,803	8.2	△ 11.6	24,277	19,296	2.3	△ 20.5	6,712	5,794	5.0	△ 13.7	14,070	9,933	1.8	△ 29.4	9,178	8,345	3.2	△ 9.1	11
12 木 材	44	44	4.6	0.0	727	738	2.2	1.5	16,074	17,111	2.0	6.4	2,206	2,341	2.0	6.1	10,298	12,128	2.3	17.8	4,394	4,000	1.5	△ 9.0	12
13 家 具	31	25	2.6	△ 19.4	298	255	0.7	△ 14.4	2,850	2,232	0.3	△ 21.7	692	620	0.5	△ 10.4	1,512	1,138	0.2	△ 24.7	1,232	958	0.4	△ 22.3	13
14 パルプ・紙	37	38	4.0	2.7	1,483	1,443	4.2	△ 2.7	76,367	79,663	9.5	4.3	6,523	6,568	5.7	0.7	65,250	67,477	12.5	3.4	△ 3,104	4,532	1.7	—	14
15 印 刷	42	43	4.5	2.4	883	869	2.5	△ 1.6	9,287	8,791	1.0	△ 5.3	2,553	2,373	2.0	△ 7.1	4,289	4,236	0.8	△ 1.2	4,548	4,157	1.6	△ 8.6	15
16 化 学	5	4	0.4	△ 20.0	55	72	0.2	30.9	1,089	2,024	0.2	85.9	218	256	0.2	17.2	637	1,217	0.2	91.0	430	768	0.3	78.7	16
17 石 油	10	10	1.1	0.0	76	75	0.2	△ 1.3	4,350	4,056	0.5	△ 6.8	367	333	0.3	△ 9.2	2,987	2,977	0.6	△ 0.3	1,298	1,027	0.4	△ 20.9	17
18 プラスチック	31	31	3.3	0.0	973	965	2.8	△ 0.8	16,198	17,400	2.1	7.4	2,798	2,941	2.5	5.1	7,604	8,694	1.6	14.3	7,529	6,822	2.6	△ 9.4	18
19 ゴ ム	7	8	0.8	14.3	180	197	0.6	9.4	1,368	1,721	0.2	25.8	488	558	0.5	14.3	506	639	0.1	26.2	759	995	0.4	31.0	19
20 皮 革	4	4	0.4	0.0	263	279	0.8	6.1	4,606	4,544	0.5	△ 1.3	666	914	0.8	37.2	3,435	2,892	0.5	△ 15.8	1,019	1,427	0.5	40.1	20
21 窯 業・土石	49	50	5.3	2.0	687	691	2.0	0.6	14,549	15,503	1.8	6.6	2,138	2,279	2.0	6.6	9,311	9,961	1.8	7.0	4,914	5,098	1.9	3.7	21
22 鉄 鋼	9	8	0.8	△ 11.1	671	658	1.9	△ 1.9	14,208	13,443	1.6	△ 5.4	2,444	2,472	2.1	1.2	8,448	8,135	1.5	△ 3.7	4,614	4,070	1.5	△ 11.8	22
23 非 鉄 金 属	4	4	0.4	0.0	82	82	0.2	0.0	1,625	1,846	0.2	13.6	287	292	0.3	1.7	972	1,054	0.2	8.4	502	685	0.3	36.5	23
24 金 属	81	78	8.2	△ 3.7	1,945	1,934	5.6	△ 0.6	34,191	32,662	3.9	△ 4.5	6,490	6,288	5.4	△ 3.1	17,692	17,905	3.3	1.2	14,787	13,209	5.0	△ 10.7	24
25 はん用機械	14	12	1.3	△ 14.3	303	318	0.9	5.0	5,332	5,374	0.6	0.8	1,223	1,273	1.1	4.1	2,480	2,681	0.5	8.1	2,354	2,374	0.9	0.9	25
26 生産用機械	56	59	6.2	5.4	1,374	1,368	4.0	△ 0.4	19,179	21,653	2.6	12.9	5,116	4,868	4.2	△ 4.9	9,660	13,125	2.4	35.9	8,114	8,035	3.0	△ 1.0	26
27 業務用機械	13	11	1.2	△ 15.4	619	616	1.8	△ 0.5	7,727	7,476	0.9	△ 3.3	1,431	1,498	1.3	4.7	5,521	5,037	0.9	△ 8.7	1,940	2,189	0.8	12.9	27
28 電子部品・デバイス	60	57	6.0	△ 5.0	6,343	6,702	19.6	5.7	194,269	241,055	28.6	24.1	25,876	31,586	27.2	22.1	109,910	145,077	26.9	32.0	71,576	88,432	33.5	23.5	28
29 電 気 機 械	76	81	8.5	6.6	3,366	3,526	10.3	4.8	97,927	107,526	12.8	9.8	11,112	11,934	10.3	7.4	65,741	72,929	13.5	10.9	28,816	29,794	11.3	3.4	29
30 情報通信機械	21	15	1.6	△ 28.6	1,926	1,888	5.5	△ 2.0	86,087	90,418	10.7	5.0	6,270	6,899	5.9	10.0	63,410	62,722	11.6	△ 1.1	20,446	24,679	9.3	20.7	30
31 輸送用機械	21	18	1.9	△ 14.3	742	718	2.1	△ 3.2	13,868	14,570	1.7	5.1	2,783	2,849	2.5	2.4	7,805	8,698	1.6	11.4	5,563	5,117	1.9	△ 8.0	31
32 その他の製品	30	31	3.3	3.3	271	269	0.8	△ 0.7	2,197	2,097	0.2	△ 4.5	852	810	0.7	△ 4.9	918	871	0.2	△ 5.1	1,179	1,137	0.4	△ 3.6	32

I 調査結果の概要

1 概況

平成22年12月31日現在で実施した工業統計調査のうち、従業者4人以上の事業所について集計した主な結果は、次のとおりであった。

- (1) **事業所数**は951事業所で、前年に比べて26事業所減少(前年比2.7%減)した。
- (2) **従業者数**は3万4,273人で、前年に比べて284人減少(同0.8%減)した。
- (3) **製造品出荷額等**は8,427億7,100万円で、前年に比べて104億2,703万円減少(同1.2%減)した。
- (4) **付加価値額**は2,643億2,600万円で、前年に比べて85億1,996万円増加(同11.1%増)した。
- (5) **現金給与総額**は1,162億2,600万円で、前年に比べて52億9,300万円増加(同14.8%増)した。
- (6) **原材料使用額等**は5.386億1,800万円で、前年に比べて333億3,200万円増加(同6.6%増)した。

図1 事業所数、従業者数、製造品出荷額等、付加価値額の対前年増減の推移 (単位：%)

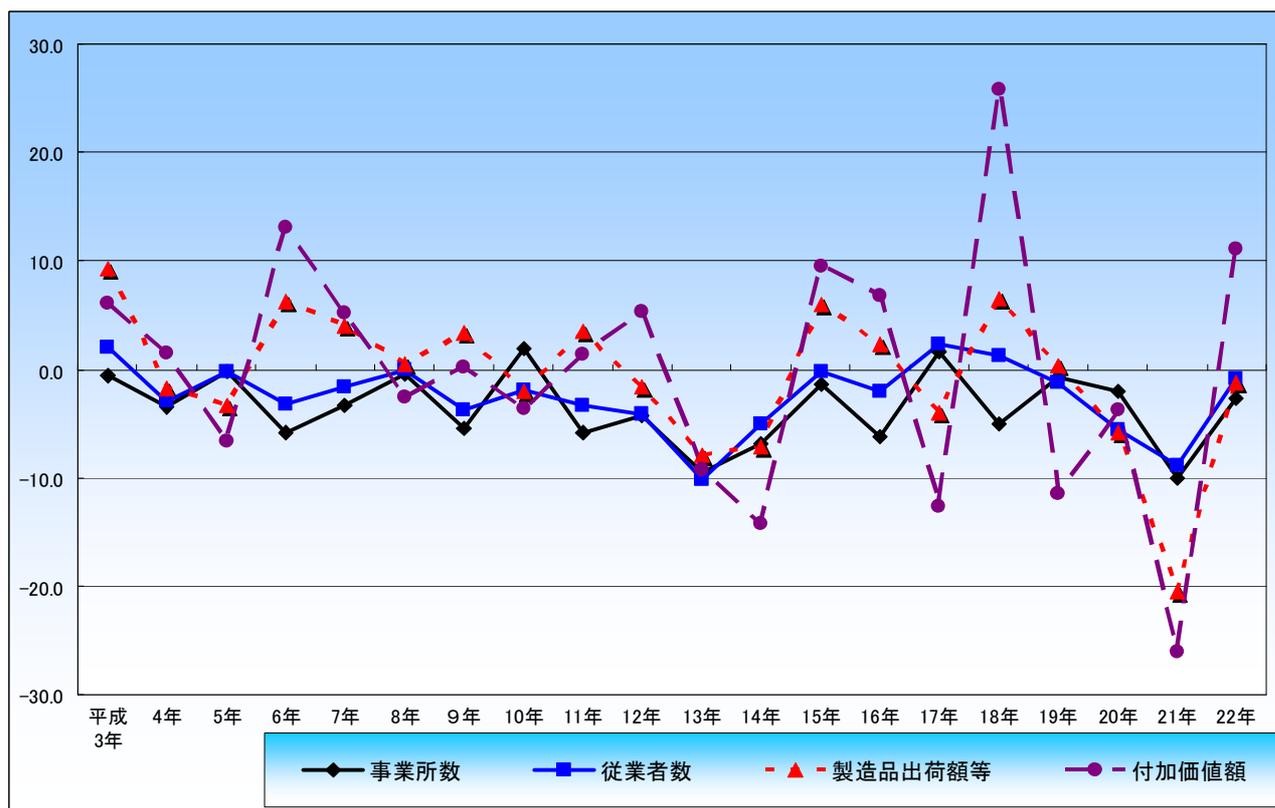
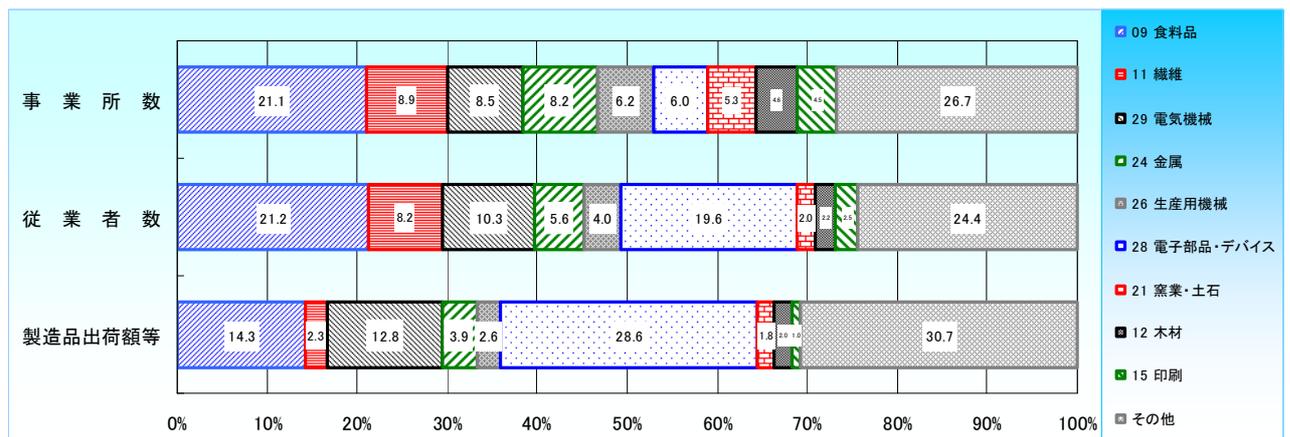


表1 主要項目の推移（従業者4人以上の事業所）

（単位：所、人、百万円、％）

平成 年	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		付加価値額	
		前年比		前年比		前年比		前年比
3	1,960	△ 0.6	58,502	2.1	1,104,321	9.3	333,999	6.1
4	1,892	△ 3.5	56,737	△ 3.0	1,084,676	△ 1.8	338,928	1.5
5	1,888	△ 0.2	56,645	△ 0.2	1,048,281	△ 3.4	316,462	△ 6.6
6	1,778	△ 5.8	54,859	△ 3.2	1,112,873	6.2	357,619	13.0
7	1,718	△ 3.4	53,910	△ 1.7	1,157,507	4.0	376,065	5.2
8	1,711	△ 0.4	53,852	△ 0.1	1,162,794	0.5	366,254	△ 2.6
9	1,617	△ 5.5	51,821	△ 3.8	1,202,264	3.4	367,052	0.2
10	1,648	1.9	50,858	△ 1.9	1,178,116	△ 2.0	353,663	△ 3.6
11	1,552	△ 5.8	49,159	△ 3.3	1,219,436	3.5	358,478	1.4
12	1,486	△ 4.3	47,079	△ 4.2	1,200,276	△ 1.6	377,430	5.3
13	1,345	△ 9.5	42,272	△ 10.2	1,105,831	△ 7.9	342,604	△ 9.2
14	1,252	△ 6.9	40,172	△ 5.0	1,025,815	△ 7.2	293,689	△ 14.3
15	1,234	△ 1.4	40,100	△ 0.2	1,087,764	6.0	321,592	9.5
16	1,158	△ 6.2	39,283	△ 2.0	1,112,667	2.3	343,353	6.8
17	1,178	1.7	40,171	2.3	1,068,232	△ 4.0	299,703	△ 12.7
18	1,118	△ 5.1	40,644	1.2	1,137,468	6.5	376,968	25.8
19	1,110	△ 0.7	40,158	△ 1.2	1,140,796	0.3	333,590	△ 11.5
20	1,087	△ 2.1	37,895	△ 5.6	1,074,477	△ 5.8	321,315	△ 3.7
21	977	△ 10.1	34,557	△ 8.8	853,198	△ 20.6	237,906	△ 26.0
22	951	△ 2.7	34,273	△ 0.8	842,771	△ 1.2	264,326	11.1

図2 産業別事業所数、従業者数、製造品出荷額等の構成比



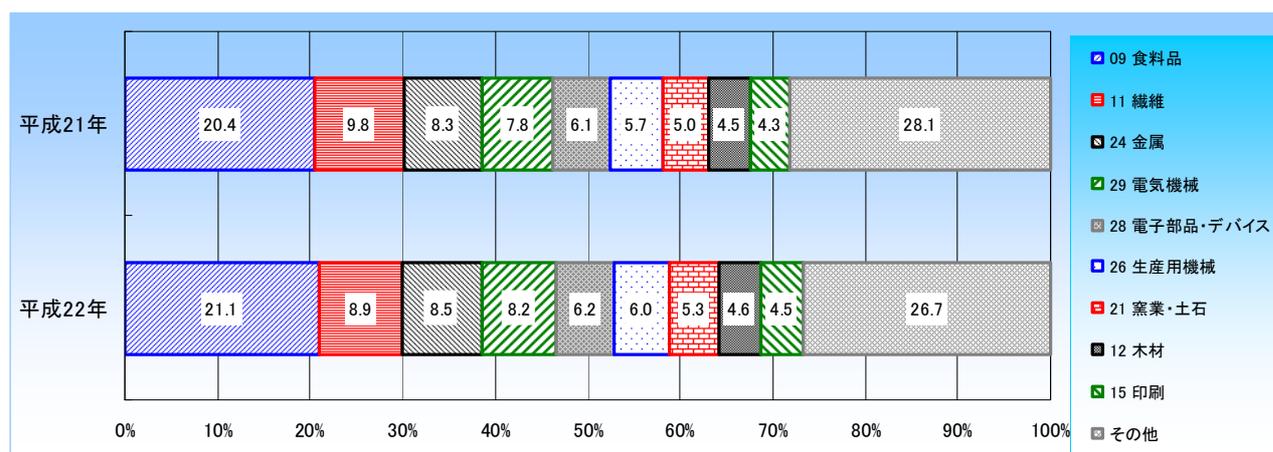
2 事業所数（従業者4人以上の事業所）

事業所数は951事業所で、前年に比べて26事業所減少（前年比2.7%減）し、5年連続の減少となった。

(1) 業種別の状況

業種別の事業所数をみると『食料品』が201事業所（構成比21.1%）で最も多く、次いで『繊維』が85事業所（同8.9%）、『電気機械』が81事業所（同8.5%）の順となっている。前年に比べて増加したのは、『電気機械』の5事業所増加（前年比6.6%増）など8業種で、『木材』など5業種については横ばいであった。一方、減少したのは、『繊維』の11事業所減少（同11.5%減）など11業種だった。

図3 産業別事業所数の構成比の推移



第2表 産業別事業所数（従業者4人以上の事業所）

(単位：所、%)

産 業 別	事 業 所 数		対 前 年		構 成 比	
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年
合 計	977	951	△ 26	△ 2.7	100.0	100.0
09 食 料 品	199	201	2	1.0	20.4	21.1
10 飲料・たばこ・飼料	37	34	△ 3	△ 8.1	3.8	3.6
11 織 維	96	85	△ 11	△ 11.5	9.8	8.9
12 木 材	44	44	0	0.0	4.5	4.6
13 家 具	31	25	△ 6	△ 19.4	3.2	2.6
14 パ ル プ ・ 紙	37	38	1	2.7	3.8	4.0
15 印 刷	42	43	1	2.4	4.3	4.5
16 化 学	5	4	△ 1	△ 20.0	0.5	0.4
17 石 油	10	10	0	0.0	1.0	1.1
18 プ ラ ス チ ッ ク	31	31	0	0.0	3.2	3.3
19 ゴ ム	7	8	1	14.3	0.7	0.8
20 皮 革	4	4	0	0.0	0.4	0.4
21 窯 業 ・ 土 石	49	50	1	2.0	5.0	5.3
22 鉄 鋼	9	8	△ 1	△ 11.1	0.9	0.8
23 非 鉄 金 属	4	4	0	0.0	0.4	0.4
24 金 属	81	78	△ 3	△ 3.7	8.3	8.2
25 は ん 用 機 械	14	12	△ 2	△ 14.3	1.4	1.3
26 生 産 用 機 械	56	59	3	5.4	5.7	6.2
27 業 務 用 機 械	13	11	△ 2	△ 15.4	1.3	1.2
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	60	57	△ 3	△ 5.0	6.1	6.0
29 電 気 機 械	76	81	5	6.6	7.8	8.5
30 情 報 通 信 機 械	21	15	△ 6	△ 28.6	2.1	1.6
31 輸 送 用 機 械	21	18	△ 3	△ 14.3	2.1	1.9
32 そ の 他 の 製 品	30	31	1	3.3	3.1	3.3

(2) 地域別の状況

市郡別の事業所数をみると、市部で18事業所減少(前年比2.6%減)し、郡部で8事業所減少(同2.9%減)した。市郡の構成割合は変わらなかった。

市部では、鳥取市で3事業所減少(同0.9%減)、米子市で10事業所減少(同5.5%減)、倉吉市で2事業所減少(同2.0%減)、境港市で3事業所減少(同3.4%減)であった。郡部では、東伯郡で1事業所増加(同1.1%増)と1郡で増加、岩美郡、日野郡は増減なしの横ばい、八頭郡で7事業所減少(同10.0%減)、西伯郡で2事業所減少(同3.1%減)となった。

(3) 従業者規模別の状況

従業者規模別の増減をみると、「4～9人」規模の事業所が10事業所減少(前年比2.6%減、構成比39.7%)、「10～19人」規模が9事業所減少(同3.9%減、23.2%)、「20～29人」規模が4事業所(同3.4%減、12.1%)、「30～99人」規模が7事業所減少(同4.0%減、17.7%)、「100～299人」規模は5事業所増加(同10.0%増、5.8%)、「300人以上」規模が1事業所減少(同6.7%減、1.5%)となった。

図4 市郡別事業所数の構成比の推移

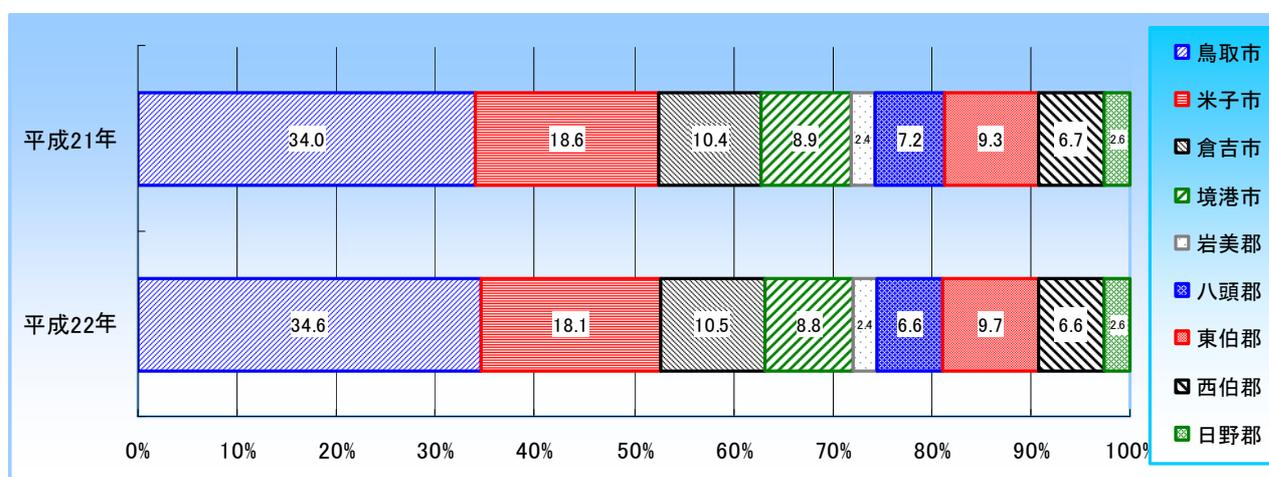


表3 市郡別、従業者規模別事業所数(従業者4人以上の事業所)

(単位: 所、%)

区分	事業所数		対前年		構成比	
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年
県計	977	951	△26	△2.7	100.0	100.0
(市郡別)						
市部	703	685	△18	△2.6	72.0	72.0
鳥取市	332	329	△3	△0.9	34.0	34.6
米子市	182	172	△10	△5.5	18.6	18.1
倉吉市	102	100	△2	△2.0	10.4	10.5
境港市	87	84	△3	△3.4	8.9	8.8
郡部	274	266	△8	△2.9	28.0	28.0
岩美郡	23	23	0	0.0	2.4	2.4
八頭郡	70	63	△7	△10.0	7.2	6.6
東伯郡	91	92	1	1.1	9.3	9.7
西伯郡	65	63	△2	△3.1	6.7	6.6
日野郡	25	25	0	25.0	2.6	2.6
(従業者規模別)						
4～9人	388	378	△10	△2.6	39.7	39.7
10～19人	230	221	△9	△3.9	23.5	23.2
20～29人	119	115	△4	△3.4	12.2	12.1
30～99人	175	168	△7	△4.0	17.9	17.7
100～299人	50	55	5	10.0	5.1	5.8
300人以上	15	14	△1	△6.7	1.5	1.5

3 従業者数（従業者4人以上の事業所）

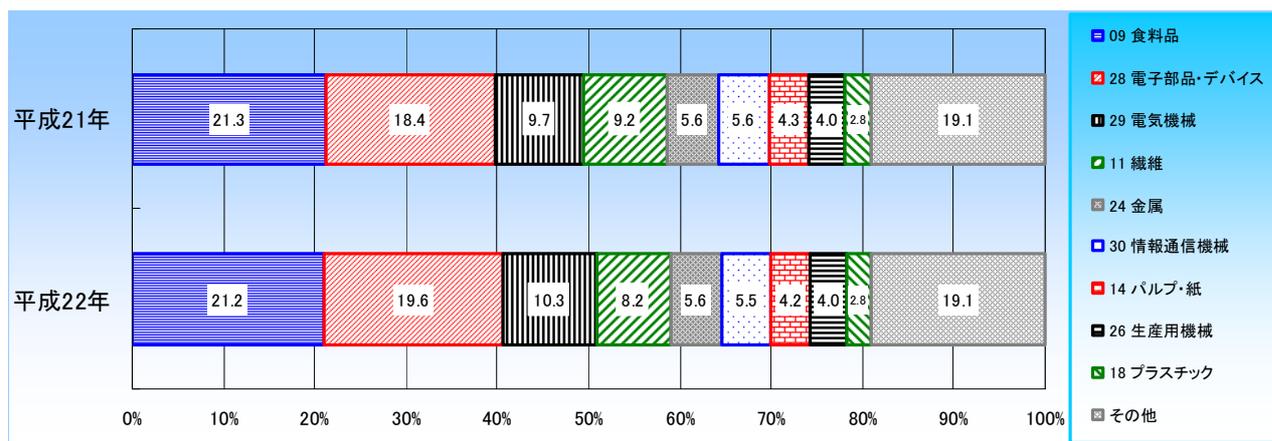
従業者数は3万4,273人で、前年に比べて284人減少（前年比0.8%減）し、4年連続の減少。

(1) 業種別の状況

業種別の従業者数をみると、『食料品』が7,261人（構成比21.2%）で、次いで『電子部品・デバイス』が6,702人（同19.6%）、『電気機械』が3,526人（同10.3%）の順となっている。

前年に比べて増加したのは、『電子部品・デバイス』の359人増加（前年比5.7%増）、『電気機械』の160人増加（同4.8%増）など8業種だった。横ばいは『非鉄金属』の1業種。一方、減少したのは、『繊維』の368人減少（同11.6%減）、『飲料・たばこ・食料品』の200人減少（同26.8%減）など15業種だった。

図5 産業別従業者数の構成比の推移



第4表 産業別従業者数（従業者4人以上の事業所）

（単位：所、%）

産業別	従業者数		対前年		構成比	
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年
合計	34,557	34,273	△284	△0.8	100.0	100.0
09 食料品	7,373	7,261	△112	△1.5	21.3	21.2
10 飲料・たばこ・飼料	746	546	△200	△26.8	2.2	1.6
11 繊維	3,171	2,803	△368	△11.6	9.2	8.2
12 木材	727	738	11	1.5	2.1	2.2
13 家具	298	255	△43	△14.4	0.9	0.7
14 パルプ・紙	1,483	1,443	△40	△2.7	4.3	4.2
15 印刷	883	869	△14	△1.6	2.6	2.5
16 化学	55	72	17	30.9	0.2	0.2
17 石油	76	75	△1	△1.3	0.2	0.2
18 プラスチック	973	965	△8	△0.8	2.8	2.8
19 ゴム	180	197	17	9.4	0.5	0.6
20 皮革	263	279	16	6.1	0.8	0.8
21 窯業・土石	687	691	4	0.6	2.0	2.0
22 鉄鋼	671	658	△13	△1.9	1.9	1.9
23 非鉄金属	82	82	0	0.0	0.2	0.2
24 金属	1,945	1,934	△11	△0.6	5.6	5.6
25 はん用機械	303	318	15	5.0	0.9	0.9
26 生産用機械	1,374	1,368	△6	△0.4	4.0	4.0
27 業務用機械	619	616	△3	△0.5	1.8	1.8
28 電子部品・デバイス	6,343	6,702	359	5.7	18.4	19.6
29 電気機械	3,366	3,526	160	4.8	9.7	10.3
30 情報通信機械	1,926	1,888	△38	△2.0	5.6	5.5
31 輸送用機械	742	718	△24	△3.2	2.1	2.1
32 その他の製品	271	269	△2	△0.7	0.8	0.8

(2) 地域別の状況

市郡別にみると、市部が2万5,999人(構成比75.9%)、郡部が8,274人(同24.1%)となった。

前年と比べて、市部で333人減少(前年比1.3%減)、郡部で49人増加(同0.6%増)した。

市部では、鳥取市で49人増加(同0.4%増)、米子市で336人減少(同5.8%減)、倉吉市で28人減少(同0.8%減)、境港市で18人減少(同0.6%減)した。

郡部では、岩美郡で83人増加(同9.8%増)、西伯郡で56人増加(同2.4%増)したほか、東伯郡で59人減少(同1.8%減)、八頭郡で26人減少(同2.0%減)、日野郡で5人減少(同1.2%減)となった。

(3) 従業者規模別の状況

従業者規模別の構成をみると、「4～9人」規模の事業所で2,345人(構成比6.8%)、「10～19人」規模で3,049人(同8.9%)、「20～29人」規模で2,799人(同8.2%)、「30～99人」規模で9,518人(同27.8%)、「100～299人」規模で9,219人(同26.9%)、「300人以上」規模で7,343人(同21.4%)となった。

前年と比べると、「100～299人」規模で948人増加(前年比11.5%増)、「300人以上」規模で729人減少(同9.0%減)、「30～99人」規模で311人減少(同3.2%減)など「100～299人」規模以外の規模で減少した。

図6 市郡別従業者数の構成比の推移

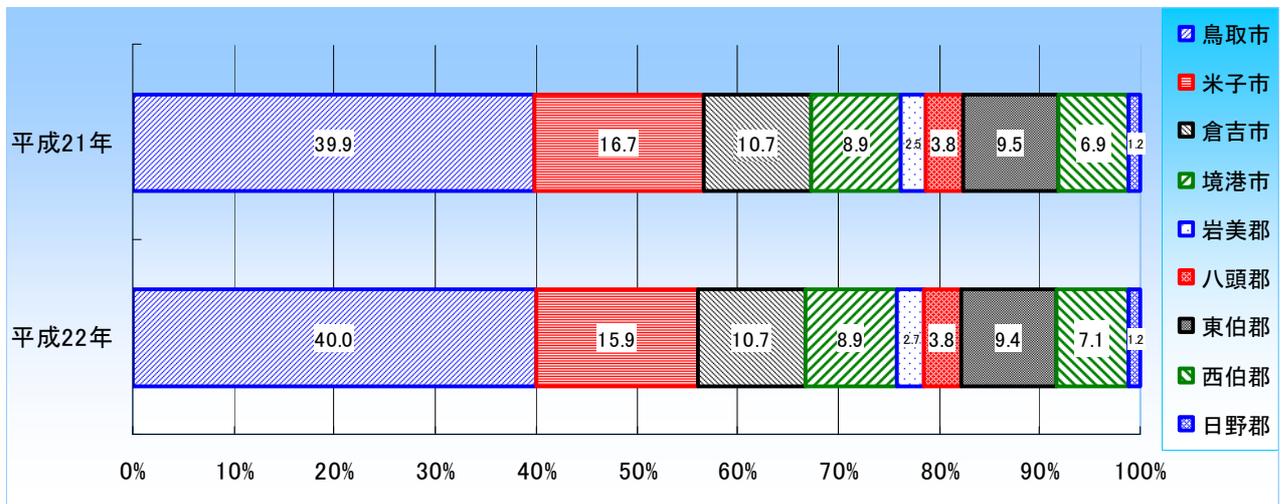


表5 市郡別、従業者規模別従業者数(従業者4人以上の事業所)

(単位: 所、%)

区分	従業者数		対前年		構成比	
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年
県計	34,557	34,273	△ 284.0	△ 0.8	100.0	100.0
(市郡別)						
市部	26,332	25,999	△ 333.0	△ 1.3	76.2	75.9
鳥取市	13,772	13,821	49.0	0.4	39.9	40.3
米子市	5,783	5,447	△ 336.0	△ 5.8	16.7	15.9
倉吉市	3,700	3,672	△ 28.0	△ 0.8	10.7	10.7
境港市	3,077	3,059	△ 18.0	△ 0.6	8.9	8.9
郡部	8,225	8,274	49.0	0.6	23.8	24.1
岩美郡	849	932	83.0	9.8	2.5	2.7
八頭郡	1,316	1,290	△ 26.0	△ 2.0	3.8	3.8
東伯郡	3,279	3,220	△ 59.0	△ 1.8	9.5	9.4
西伯郡	2,371	2,427	56.0	2.4	6.9	7.1
日野郡	410	405	△ 5.0	△ 1.2	1.2	1.2
(従業者規模別)						
4～9人	2,407	2,345	△ 62.0	△ 2.6	7.0	6.8
10～19人	3,157	3,049	△ 108.0	△ 3.4	9.1	8.9
20～29人	2,821	2,799	△ 22.0	△ 0.8	8.2	8.2
30～99人	9,829	9,518	△ 311.0	△ 3.2	28.4	27.8
100～299人	8,271	9,219	948.0	11.5	23.9	26.9
300人以上	8,072	7,343	△ 729.0	△ 9.0	23.4	21.4

(4) 従業者就業形態別の状況

従業者就業形態別の従業者数をみると、「正社員、正職員等」が25,673人(構成比74.9%)、「パート・アルバイト等」が5,853人(同17.1%)、「出向・派遣受入者」が2,608人(同7.6%)、「個人事業主及び無給家族従業者」が139人(同0.4%)の順となっている。

前年に比べ、「正社員・正職員等」が999人減少(前年比3.7%減)、「パート・アルバイト等」の223人減少(同3.7%減)、「出向・派遣受入者」が958人増加(同58.1%増)、「個人事業主及び無給家族従業者」が20人減少(同12.6%減)となった。

産業別に従業者就業形態別構成比をみると、総数に占める「正社員、正職員等」の割合は『生産用機械』が94.1%と最も高く、次いで『非鉄金属』の91.5%と続き、『ゴム』が56.9%と最も低くなっている。

「パート・アルバイト等」は『食料品』が36.1%と最も高く、次いで『プラスチック』の35.3%と続き、『石油』が4.0%と最も低くなっている。

「出向・派遣受入者」は『情報通信機械』が21.8%と最も高く、次いで『電子部品・デバイス』の21.48%と続き、『家具』、『印刷』、『化学』、『非鉄金属』は0.0%であった。

「個人事業主及び無給家族従業者」は『家具』が2.7%と最も高く、次いで『情報通信機械』の2.2%と続き、『化学』、『石油』、『ゴム』、『皮革』、『鉄鋼』、『非鉄金属』は0.0%であった。

表6 従業者就業形態別従業者数(従業者4人以上の事業所)

(単位:人、%)

産 業	従 業 者 数									
	総 数		常 用 労 働 者						個人事業主・ 無給家族従業者	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
総 数	34,273	△ 0.8	25,673	△ 3.7	5,853	△ 3.7	2,608	58.1	139	△ 12.6
09 食 料 品	7,261	△ 1.5	4,422	1.0	2,618	△ 5.2	165	△ 5.7	56	0.0
10 飲料・たばこ・飼料	546	△ 26.8	403	△ 31.6	96	△ 13.5	44	2.3	3	0.0
11 織 維	2,803	△ 11.6	2,217	△ 13.8	424	△ 7.8	140	27.3	22	△ 21.4
12 木 材	738	1.5	672	2.6	59	△ 4.8	5	△ 37.5	2	0.0
13 家 具	255	△ 14.4	231	△ 11.8	17	△ 34.6	—	—	7	△ 30.0
14 パ ル プ ・ 紙	1,443	△ 2.7	1,333	△ 0.4	92	△ 22.0	13	△ 35.0	5	△ 16.7
15 印 刷	869	△ 1.6	780	△ 2.3	87	4.8	—	—	2	100.0
16 化 学	72	30.9	57	32.6	15	25.0	—	—	—	—
17 石 油	75	△ 1.3	60	△ 3.2	3	0.0	12	9.1	—	—
18 プ ラ ス チ ッ ク	965	△ 0.8	602	0.8	341	0.9	21	△ 41.7	1	△ 50.0
19 ゴ ム	197	9.4	112	△ 9.7	61	29.8	24	200.0	—	△ 100.0
20 皮 革	279	6.1	193	2.7	85	14.9	1	0.0	—	—
21 窯 業 ・ 土 石	691	0.6	601	△ 1.6	59	22.9	21	23.5	10	△ 9.1
22 鉄 鋼	658	△ 1.9	597	△ 1.3	60	△ 6.3	1	△ 50.0	—	—
23 非 鉄 金 属	82	0.0	75	0.0	7	0.0	—	—	—	—
24 金 属	1,934	△ 0.6	1,625	△ 1.9	255	11.8	53	△ 1.9	1	△ 83.3
25 は ん 用 機 械	318	5.0	288	11.6	20	△ 48.7	9	125.0	1	△ 50.0
26 生 産 用 機 械	1,368	△ 0.4	1,287	△ 0.5	73	2.8	5	△ 16.7	3	0.0
27 業 務 用 機 械	616	△ 0.5	495	△ 5.5	93	9.4	25	257.1	3	0.0
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	6,702	5.7	4,544	△ 9.9	718	△ 10.8	1,436	194.9	4	△ 33.3
29 電 気 機 械	3,526	4.8	2,895	4.1	426	9.5	194	6.6	11	△ 15.4
30 情 報 通 信 機 械	1,888	△ 2.0	1,346	△ 1.8	130	1.6	411	△ 3.7	1	0.0
31 輸 送 用 機 械	718	△ 3.2	627	0.8	62	△ 8.8	28	△ 45.1	1	0.0
32 そ の 他 の 製 品	269	△ 0.7	211	△ 4.1	52	10.6	—	—	6	50.0

(5) 1事業所当たりの従業者数

1事業所当たりの従業者数は36.0人となり、前年に比べ0.6人増加した。

業種別にみると、『情報通信機器』が125.9人(前年91.7人、前年比37.3%増)で最も多く、次いで『電子部品・デバイス』が117.6人(同105.7人、同11.2%増)の順となった。

逆に少なかったのは、『石油』の7.5人(同7.6人、同1.3%減)、『その他の製品』8.7人(同9.0人、同3.7%減)などであった。

第7表 1事業所当たり従業者数(従業者4人以上の事業所)

(単位:人、%)

産 業 別	従 業 者 数		対 前 年		
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	
合 計	35.4	36.0	0.6	1.7	
09 食 料 品	37.1	36.1	△ 1.0	△ 2.6	09
10 飲料・たばこ・飼料	20.2	16.1	△ 4.1	△ 20.1	10
11 織 維	33.0	33.0	△ 0.0	△ 0.1	11
12 木 材	16.5	16.8	0.3	1.7	12
13 家 具	9.6	10.2	0.6	6.1	13
14 パ ル プ ・ 紙	40.1	38.0	△ 2.1	△ 5.2	14
15 印 刷	21.0	20.2	△ 0.8	△ 3.9	15
16 化 学	11.0	18.0	7.0	63.6	16
17 石 油	7.6	7.5	△ 0.1	△ 1.3	17
18 プ ラ ス チ ッ ク	31.4	31.1	△ 0.3	△ 0.9	18
19 ゴ ム	25.7	24.6	△ 1.1	△ 4.3	19
20 皮 革	65.8	69.8	4.1	6.2	20
21 窯 業 ・ 土 石	14.0	13.8	△ 0.2	△ 1.6	21
22 鉄 鋼	74.6	82.3	7.7	10.4	22
23 非 鉄 金 属	20.5	20.5	0.0	0.0	23
24 金 属	24.0	24.8	0.8	3.3	24
25 は ん 用 機 械	21.6	26.5	4.9	22.4	25
26 生 産 用 機 械	24.5	23.2	△ 1.3	△ 5.4	26
27 業 務 用 機 械	47.6	56.0	8.4	17.6	27
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	105.7	117.6	11.9	11.2	28
29 電 気 機 械	44.3	43.5	△ 0.8	△ 1.8	29
30 情 報 通 信 機 械	91.7	125.9	34.2	37.3	30
31 輸 送 用 機 械	35.3	39.9	4.6	12.9	31
32 そ の 他 の 製 品	9.0	8.7	△ 0.3	△ 3.7	32

4 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

製造品出荷額等は8,427億7,100万円で、前年に比べて104億2,700万円減少（前年比1.2%減）し、3年連続で減少した。

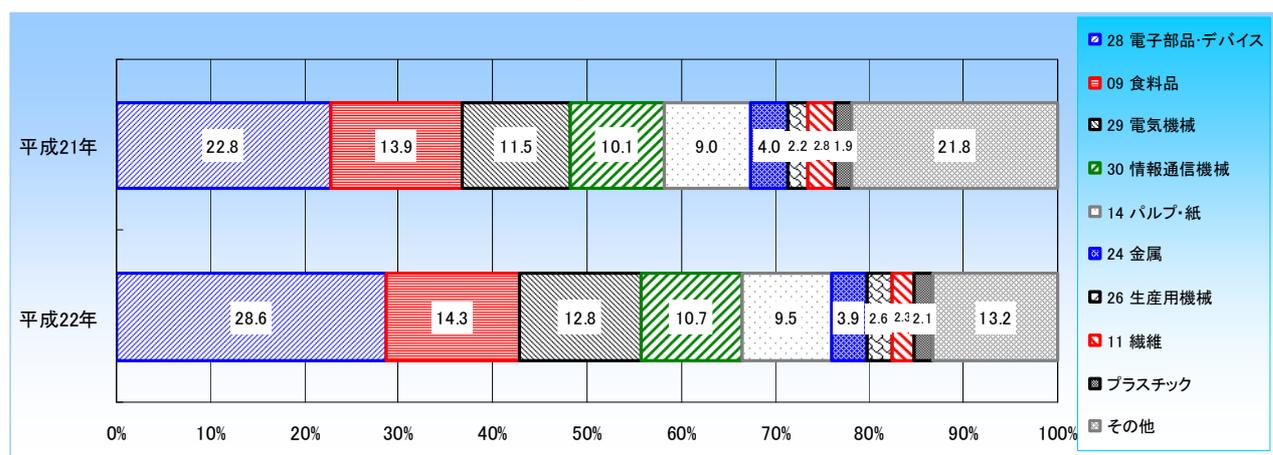
(1) 業種別の状況

業種別の構成をみると、『電子部品・デバイス』が2,410億5,500万円（構成比28.6%）で最も多く、次いで『食料品』の1,202億1,600万円（同14.3%）、『電気機械』の1,075億2,600万円（同12.8%）の順となった。

前年に比べて増加したのは、『電子部品・デバイス』の467億8,600万円増加（前年比24.1%増）、『電気機械』の95億9,900万円増加（同9.8%増）など14業種だった。

一方、減少したのは、『飲料・たばこ・飼料』の751億4,400万円減少（同86.1%減）、『繊維』の49億8,100万円減少（同20.5%減）など10業種だった。

図7 産業別製造品出荷額等の構成比の推移



第8表 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

（単位：百万円、%）

産業別	製造品出荷額等		対前年		構成比	
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年
合計	853,198	842,771	△ 10,427	△ 1.2	100.0	100.0
09 食料品	118,334	120,216	1,882	1.6	13.9	14.3
10 飲料・たばこ・飼料	87,236	12,092	△ 75,144	△ 86.1	10.2	1.4
11 繊維	24,277	19,296	△ 4,981	△ 20.5	2.8	2.3
12 木材	16,074	17,111	1,037	6.4	1.9	2.0
13 家具	2,850	2,232	△ 618	△ 21.7	0.3	0.3
14 パルプ・紙	76,367	79,663	3,296	4.3	9.0	9.5
15 印刷	9,287	8,791	△ 496	△ 5.3	1.1	1.0
16 化学	1,089	2,024	935	85.9	0.1	0.2
17 石油	4,350	4,056	△ 294	△ 6.8	0.5	0.5
18 プラスチック	16,198	17,400	1,202	7.4	1.9	2.1
19 ゴム	1,368	1,721	353	25.8	0.2	0.2
20 皮革	4,606	4,544	△ 62	△ 1.3	0.5	0.5
21 窯業・土石	14,549	15,503	954	6.6	1.7	1.8
22 鉄鋼	14,208	13,443	△ 765	△ 5.4	1.7	1.6
23 非鉄金属	1,625	1,846	221	13.6	0.2	0.2
24 金属	34,191	32,662	△ 1,529	△ 4.5	4.0	3.9
25 はん用機械	5,332	5,374	42	0.8	0.6	0.6
26 生産用機械	19,179	21,653	2,474	12.9	2.2	2.6
27 業務用機械	7,727	7,476	△ 251	△ 3.3	0.9	0.9
28 電子部品・デバイス	194,269	241,055	46,786	24.1	22.8	28.6
29 電気機械	97,927	107,526	9,599	9.8	11.5	12.8
30 情報通信機械	86,087	90,418	4,331	5.0	10.1	10.7
31 輸送用機械	13,868	14,570	702	5.1	1.6	1.7
32 その他の製品	2,197	2,097	△ 100	△ 4.5	0.3	0.2

(2) 地域別の状況

市郡別にみると、市部では、鳥取市で306億2,600万円増加(同8.1%増)、米子市で478億5,000万円減少(同25.6%減)、倉吉市で1億4,700万円増加(同0.2%増)、境港市で27億5,000万円減少(同4.1%減)した。

郡部では、西伯郡で45億8,800万円増加(同8.4%増)、東伯郡で26億3,380万円増加(同4.6%増)、日野郡で11億1,700万円増加(同25.0%増)など全郡で増加した。

(3) 従業者規模別の状況

従業者規模別の構成をみると、「4～9人」規模の事業所で221億2,900万円(構成比2.6%)、「10～19人」規模で357億8,300万円(同4.2%)、「20～29人」規模で353億9,600万円(同4.2%)、「30～99人」規模で1,571億7,500万円(同18.6%)、「100～299人」規模で2,597億9,600万円(同30.8%)、「300人以上」規模で3,324億9,200万円(同39.5%)となった。

前年と比べると、「300人以上」規模で250億4,600万円増加(前年比8.1%増)、「20～29人」規模で6億4,400万円増加(同1.9%増)など3区分で増加し、「100～299人」規模で305億9,700万円減少(同10.5%減)、「30～99人」規模で43億2,500万円減少(同2.7%減)するなど3区分で減少した。

図8 市郡別製造品出荷額等の構成比の推移

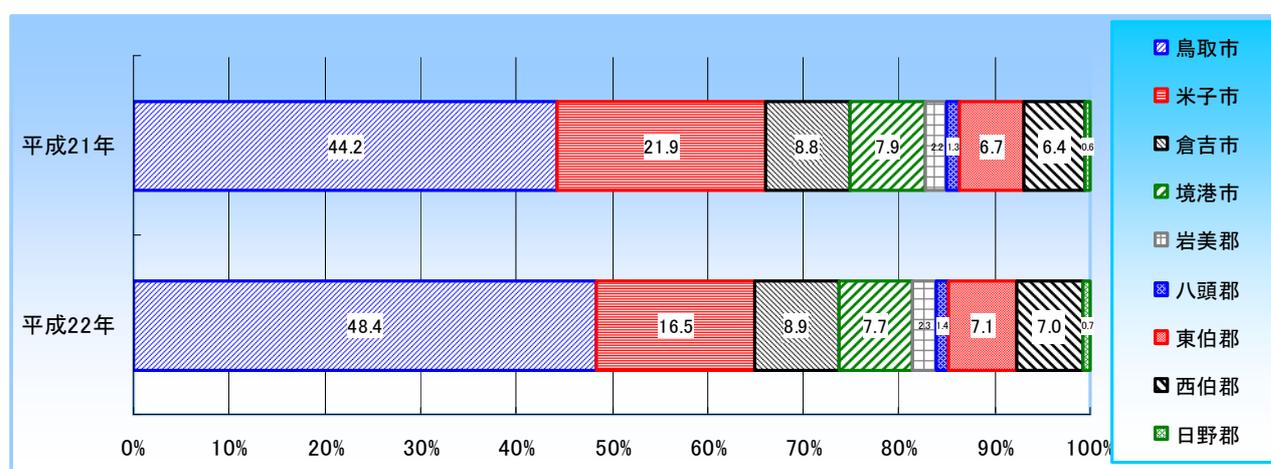


表9 市郡別、従業者規模別製造品出荷額等 (従業者4人以上の事業所)
(単位:百万円、%)

区 分	製造品出荷額等		対 前 年		構 成 比	
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年
県 計	853,198	842,771	△ 10,427	△ 1.2	100.0	100.0
(市 郡 別)						
市 部	706,424	686,597	△ 19,827	△ 2.8	82.8	81.5
鳥取市	377,030	407,656	30,626	8.1	44.2	48.4
米子市	186,892	139,042	△ 47,850	△ 25.6	21.9	16.5
倉吉市	75,112	75,259	147	0.2	8.8	8.9
境港市	67,390	64,640	△ 2,750	△ 4.1	7.9	7.7
郡 部	146,774	156,174	9,400	6.4	17.2	18.5
岩美郡	18,716	19,106	390	2.1	2.2	2.3
八頭郡	11,235	11,909	674	6.0	1.3	1.4
東伯郡	57,419	60,052	2,633	4.6	6.7	7.1
西伯郡	54,515	59,103	4,588	8.4	6.4	7.0
日野郡	4,887	6,004	1,117	25.0	0.6	0.7
(従業者規模別)						
4～9人	23,779	22,129	△ 1,650	△ 6.9	2.8	2.6
10～19人	35,327	35,783	456	1.3	4.1	4.2
20～29人	34,752	35,396	644	1.9	4.1	4.2
30～99人	161,500	157,175	△ 4,325	△ 2.7	18.9	18.6
100～299人	290,393	259,796	△ 30,597	△ 10.5	34.0	30.8
300人以上	307,447	332,492	25,046	8.1	36.0	39.5

(4) 1事業所当たりの製造品出荷額等

1事業所当たりの製造品出荷額等は8億7,751万円で、前年に比べて7,263万円増加(前年比9.0%増)した。業種別にみると、『情報通信機械』が59億4,346万円(前年40億4,934万円、前年比46.8%増)で最も多く、次いで『電子部品・デバイス』の42億4,891万円(同32億5,492万円、同30.5%増)、『パルプ・紙』の20億8,411万円(同20億5,062万円、同1.6%増)の順となった。逆に少なかったのは、『その他の製品』の6,584万円(同7,117万円、同7.5%減)、『家具』の8,720円(同8,989万円、同3.0%減)などであった。

(5) 従業者1人当たりの製造品出荷額等

従業者1人当たりの製造品出荷額等は2,435万円で、前年に比べて159万円増加(前年比7.0%増)した。業種別にみると、『石油』が5,339万円(前年5,638万円、前年比5.3%減)で最も多く、次いで『パルプ・紙』の5,488万円(同5,116万円、同7.3%増)、『情報通信機械』の4,722万円(同4,415万円、同6.9%増)の順となった。逆に少なかったのは、『繊維』の673万円(同751万円、同10.4%減)、『その他の製品』の759万円(同788万円、同3.7%減)、『ゴム』の849万円(同738万円、同15.0%増)、などであった。

表10 1事業所当たり、従業者1人当たり製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)

産 業 別	1事業所当たり				従業者1人当たり			
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年	増減数	増減率
合 計	80,488	87,751	7,263	9.0	2,276	2,435	159	7.0
09 食 料 品	58,532	58,754	222	0.4	1,580	1,626	46	2.9
10 飲料・たばこ・飼料	74,386	34,214	△ 40,172	△ 54.0	3,689	2,131	△ 1,558	△ 42.2
11 織 維	24,797	22,189	△ 2,608	△ 10.5	751	673	△ 78	△ 10.4
12 木 材	36,034	38,491	2,457	6.8	2,181	2,295	114	5.2
13 家 具	8,989	8,720	△ 269	△ 3.0	935	855	△ 80	△ 8.6
14 パ ル プ ・ 紙	205,062	208,411	3,349	1.6	5,116	5,488	372	7.3
15 印 刷	21,551	19,945	△ 1,606	△ 7.5	1,025	987	△ 38	△ 3.7
16 化 学	21,341	49,639	28,298	132.6	1,940	2,758	818	42.2
17 石 油	42,852	40,044	△ 2,808	△ 6.6	5,638	5,339	△ 299	△ 5.3
18 プ ラ ス チ ッ ク	50,959	54,864	3,905	7.7	1,624	1,762	138	8.5
19 ゴ ム	18,979	20,907	1,928	10.2	738	849	111	15.0
20 皮 革	113,786	117,721	3,935	3.5	1,731	1,602	△ 129	△ 7.4
21 窯 業 ・ 土 石	29,189	30,481	1,292	4.4	2,082	2,206	124	6.0
22 鉄 鋼	155,415	165,052	9,637	6.2	2,085	2,007	△ 78	△ 3.7
23 非 鉄 金 属	39,878	45,348	5,471	13.7	1,945	2,212	267	13.7
24 金 属	41,263	40,996	△ 267	△ 0.6	1,718	1,653	△ 65	△ 3.8
25 は ん 用 機 械	37,259	43,841	6,582	17.7	1,722	1,654	△ 68	△ 3.9
26 生 産 用 機 械	33,688	36,237	2,549	7.6	1,373	1,563	190	13.8
27 業 務 用 機 械	58,685	66,931	8,246	14.1	1,232	1,195	△ 37	△ 3.0
28 電子部品・デバイス	325,492	424,891	99,399	30.5	3,079	3,612	533	17.3
29 電 気 機 械	127,486	130,966	3,480	2.7	2,878	3,009	131	4.5
30 情 報 通 信 機 械	404,934	594,346	189,412	46.8	4,415	4,722	307	6.9
31 輸 送 用 機 械	64,702	79,479	14,777	22.8	1,831	1,993	162	8.8
32 そ の 他 の 製 品	7,117	6,584	△ 533	△ 7.5	788	759	△ 29	△ 3.7

(注) 表10における算式は、次のとおりである。

$$1 \text{ 事業所当たりの製造品出荷額等} = \frac{\text{製造品出荷額等} - \text{内国消費税額} - \text{推計消費税額}}{\text{事業所数}}$$

$$\text{従業者1人当たりの製造品出荷額等} = \frac{\text{製造品出荷額等} - \text{内国消費税額} - \text{推計消費税額}}{\text{従業者数}}$$

5 付加価値額（従業者4人以上の事業所）

付加価値額は2,643億2,600万円で、前年に比べて264億2,000万円増加（前年比11.1%増）し、4年ぶりの増加となった。

(1) 業種別の状況

業種別の付加価値額をみると、『電子部品・デバイス』が884億3,200万円（構成比33.5%）で最も多く、次いで『食料品』が409億5,000万円（同15.5%）、『電気機械』が297億9,400万円（同11.3%）の順となっている。

増加したのは、『電子部品・デバイス』の168億5,600万円増加（前年比23.5%増）、『パルプ・紙』の76億3,600万円増加（前年付加価値マイナス）など12業種だった。

一方、前年に比べて減少したのは、『飲料・たばこ・飼料』の31億2,800万円減少（同36.1%減）、『金属』の15億7,800万円減少（同10.7%減）など12業種だった。

第11表 付加価値額（従業者4人以上の事業所）

（単位：百万円、%）

産 業 別	付加価値額		対 前 年		構 成 比		
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年	
合 計	237,906	264,326	26,420	11.1	100.0	100.0	
09 食 料 品	37,164	40,950	3,786	10.2	15.6	15.5	09
10 飲料・たばこ・飼料	8,653	5,525	△ 3,128	△ 36.1	3.6	2.1	10
11 織 維	9,178	8,345	△ 833	△ 9.1	3.9	3.2	11
12 木 材	4,394	4,000	△ 394	△ 9.0	1.8	1.5	12
13 家 具	1,232	958	△ 274	△ 22.3	0.5	0.4	13
14 パ ル プ ・ 紙	△ 3,104	4,532	7,636	—	△ 1.3	1.7	14
15 印 刷	4,548	4,157	△ 391	△ 8.6	1.9	1.6	15
16 化 学	430	768	338	78.7	0.2	0.3	16
17 石 油	1,298	1,027	△ 271	△ 20.9	0.5	0.4	17
18 プ ラ ス チ ッ ク	7,529	6,822	△ 707	△ 9.4	3.2	2.6	18
19 ゴ ム	759	995	236	31.0	0.3	0.4	19
20 皮 革	1,019	1,427	408	40.0	0.4	0.5	20
21 窯 業 ・ 土 石	4,914	5,098	184	3.7	2.1	1.9	21
22 鉄 鋼	4,614	4,070	△ 544	△ 11.8	1.9	1.5	22
23 非 鉄 金 属	502	685	183	36.5	0.2	0.3	23
24 金 属	14,787	13,209	△ 1,578	△ 10.7	6.2	5.0	24
25 は ん 用 機 械	2,354	2,374	20	0.9	1.0	0.9	25
26 生 産 用 機 械	8,114	8,035	△ 79	△ 1.0	3.4	3.0	26
27 業 務 用 機 械	1,940	2,189	249	12.9	0.8	0.8	27
28 電子部品・デバイス	71,576	88,432	16,856	23.5	30.1	33.5	28
29 電 気 機 械	28,816	29,794	978	3.4	12.1	11.3	29
30 情 報 通 信 機 械	20,446	24,679	4,233	20.7	8.6	9.3	30
31 輸 送 用 機 械	5,563	5,117	△ 446	△ 8.0	2.3	1.9	31
32 そ の 他 の 製 品	1,179	1,137	△ 42	△ 3.6	0.5	0.4	32

(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別の構成をみると、「4～9人」規模の事業所で106億3,300万円(構成比4.0%)、「10～19人」規模で155億1,900万円(同5.9%)、「20～29人」規模で163億9,500万円(同6.2%)、「30～99人」規模で582億3,400万円(同22.0%)、「100～299人」規模で542億2,800万円(同20.5%)、「300人以上」規模で1,093億1,600万円(同41.4%)となった。従業者30人以上の事業所の占める割合は83.9%となり、前年に比べて1.0ポイント上昇した。

前年と比べると、「300人以上」規模で217億8,100万円増加(前年比24.9%増)し、「20～29人」規模で20億6,600万円増加(同14.4%増)、「30～99人」規模で19億1,000万円増加(同3.4%増)するなど10人以上の規模で増加した。

表12 市町村別、従業者規模別、付加価値額(従業者4人以上の事業所)
(単位:百万円、%)

区 分	付加価値額		対 前 年		構 成 比	
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年
県 計	237,906	264,326	26,420	11.1	100.0	100.0
(市 郡 別)						
市 部	195,885	215,236	19,351	9.9	82.3	81.4
鳥取市	142,957	153,764	10,807	7.6	60.1	58.2
米子市	16,120	24,679	8,559	53.1	6.8	9.3
倉吉市	20,004	19,829	△175	△0.9	8.4	7.5
境港市	16,804	16,964	160	1.0	7.1	6.4
郡 部	42,021	49,090	7,069	16.8	17.7	18.6
岩美郡	6,230	6,742	512	8.2	2.6	2.6
八頭郡	5,670	5,929	259	4.6	2.4	2.2
東伯郡	17,121	18,753	1,632	9.5	7.2	7.1
西伯郡	10,596	14,808	4,212	39.8	4.5	5.6
日野郡	2,404	2,858	454	25.0	1.0	1.1
(従業者規模別)						
4～9人	11,816	10,633	△1,183	△10.0	5.0	4.0
10～19人	14,688	15,519	831	5.7	6.2	5.9
20～29人	14,329	16,395	2,066	14.4	6.0	6.2
30～99人	56,324	58,234	1,910	3.4	23.7	22.0
100～299人	53,213	54,228	1,015	1.9	22.4	20.5
300人以上	87,535	109,316	21,781	24.9	36.8	41.4

(3) 付加価値率

付加価値率は総平均で29.4%となり、前年に比べて0.6ポイント低下した。

業種別にみると、『飲料・たばこ・飼料』が58.8%(前年28.1%)で最も高く、次いで『ゴム』の57.7%(同55.8%)、『その他の製品』の55.1%(同53.8%)の順となった。逆に低かったのは、『パルプ・紙』の4.2%(同△4.1%)、『木材』の11.3%(同27.8%)などであった。

(4) 1事業所当たりの付加価値額

1事業所当たりの付加価値額は2億7,794万円となり、前年に比べて3,443万円増加(前年比14.1%増)した。

業種別にみると、『情報通信機械』が16億4,526万円(前年9億7,362万円、前年比69.0%増)で最も多く、次いで『電子部品・デバイス』の15億5,143万円(同11億9,294万円、同30.1%増)、『鉄鋼』の5億871万円(同5億1,271万円、同0.8%減)の順となった。逆に少なかったのは、『その他の製品』の3,699万円(同3,930万円、同6.6%減)、『家具』の3,832万円(同3,975万円、同比3.6%減)、『木材』の9,092万円(同9,987万円、同9.0%減)などであった。

(5) 従業者1人当たりの付加価値額(労働生産性)

従業者1人当たりの付加価値額は771万円で、前年に比べて83万円増加(前年比12.0%増)した。

業種別にみると、『石油』が1,369万円(前年1,708万円、前年比19.9%減)で最も多く、次いで『電子部品・デバイス』の1,319万円(同1,128万円、同16.9%増)、『情報通信機械』の1,307万円(同1,062万円、同23.1%増)の順となった。逆に少なかったのは、『繊維』の298万円(前年289万円)、『パルプ・紙』の314万円(前年△209万円)などであった。

表1-3 付加価値率及び1事業所当たり、従業者1人当たり付加価値額
(従業者4人以上の事業所、ただし付加価値率は30人以上の事業所)

産 業 別	付加価値率		1事業所当たり				従業者1人当たり			
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年	増減数	増減率
合 計	30.0	29.4	24,351	27,794	3,443	14.1	688	771	83	12.0
09 食 料 品	31.3	31.6	18,675	20,373	1,698	9.1	504	564	60	11.9
10 飲料・たばこ・飼料	28.1	58.8	23,386	16,251	△ 7,135	△ 30.5	1,160	1,012	△ 148	△ 12.8
11 織 維	38.0	41.2	9,561	9,818	257	2.7	289	298	9	3.0
12 木 材	27.8	11.3	9,987	9,092	△ 895	△ 9.0	604	542	△ 62	△ 10.3
13 家 具	43.2	21.8	3,975	3,832	△ 143	△ 3.6	413	376	△ 37	△ 9.1
14 パ ル プ ・ 紙	△ 4.1	4.2	△ 8,390	11,925	20,315	—	△ 209	314	523	—
15 印 刷	48.9	23.4	10,828	9,667	△ 1,161	△ 10.7	515	478	△ 37	△ 7.2
16 化 学	39.5	35.9	8,597	19,206	10,609	123.4	782	1,067	285	36.5
17 石 油	29.8	—	12,982	10,270	△ 2,712	△ 20.9	1,708	1,369	△ 339	△ 19.9
18 プ ラ ス チ ッ ク	46.6	35.9	24,287	22,008	△ 2,279	△ 9.4	774	707	△ 67	△ 8.6
19 ゴ ム	55.8	57.7	10,850	12,432	1,582	14.6	422	506	84	19.9
20 皮 革	22.4	31.2	25,482	35,677	10,195	40.0	388	511	123	31.8
21 窯 業 ・ 土 石	33.8	18.2	10,028	10,196	168	1.7	715	738	23	3.2
22 鉄 鋼	33.2	32.0	51,271	50,871	△ 400	△ 0.8	688	618	△ 70	△ 10.1
23 非 鉄 金 属	32.0	33.9	12,548	17,115	4,567	36.4	612	835	223	36.4
24 金 属	43.5	37.9	18,256	16,935	△ 1,321	△ 7.2	760	683	△ 77	△ 10.2
25 は ん 用 機 械	46.8	41.8	16,813	19,785	2,972	17.7	777	747	△ 30	△ 3.8
26 生 産 用 機 械	43.6	32.3	14,489	13,619	△ 870	△ 6.0	591	587	△ 4	△ 0.6
27 業 務 用 機 械	25.1	25.4	14,920	19,900	4,980	33.4	313	355	42	13.3
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	37.3	36.8	119,294	155,143	35,849	30.1	1,128	1,319	191	16.9
29 電 気 機 械	29.7	26.4	37,916	36,783	△ 1,133	△ 3.0	856	845	△ 11	△ 1.3
30 情 報 通 信 機 械	23.9	27.0	97,362	164,526	67,164	69.0	1,062	1,307	245	23.1
31 輸 送 用 機 械	39.7	32.5	26,491	28,430	1,939	7.3	750	713	△ 37	△ 4.9
32 そ の 他 の 製 品	53.8	55.1	3,930	3,669	△ 261	△ 6.6	435	423	△ 12	△ 2.8

6 現金給与総額（従業者4人以上の事業所）

現金給与総額は1,162億2,600万円で、前年に比べて52億9,300万円増加（前年比4.8%増）した。

(1) 業種別の状況

業種別の構成をみると、『電子部品・デバイス』が315億8,600万円（構成比27.2%）で最も多く、次いで『食料品』の186億6,000万円（同16.1%）、『電気機械』の119億3,400万円（同10.3%）の順となり、上位3業種で全体の53.6%を占めた。

前年に比べて増加したのは、『電子部品・デバイス』の57億1,000万円増加（前年比22.1%増）、『電気機械』の8億2,200万円増加（同7.4%増）など16業種だった。一方、前年に比べて減少したのは、『飲料・たばこ・飼料』の13億5,900万円減少（同42.4%減）、『繊維』の9億1,800万円減少（同13.7%減）など8業種だった。

第14表 現金給与総額（従業者4人以上の事業所）

（単位：百万円、%）

産 業 別	現金給与総額		対 前 年		構 成 比		
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年	
合 計	110,933	116,226	5,293	4.8	100.0	100.0	
09 食 料 品	18,508	18,660	152	0.8	16.7	16.1	09
10 飲料・たばこ・飼料	3,181	1,822	△ 1,359	△ 42.7	2.9	1.6	10
11 繊 維	6,712	5,794	△ 918	△ 13.7	6.1	5.0	11
12 木 材	2,206	2,341	135	6.1	2.0	2.0	12
13 家 具	692	620	△ 72	△ 10.4	0.6	0.5	13
14 パ ル プ ・ 紙	6,523	6,568	45	0.7	5.9	5.7	14
15 印 刷	2,553	2,373	△ 180	△ 7.1	2.3	2.0	15
16 化 学	218	256	38	17.2	0.2	0.2	16
17 石 油	367	333	△ 34	△ 9.2	0.3	0.3	17
18 プ ラ ス チ ッ ク	2,798	2,941	143	5.1	2.5	2.5	18
19 ゴ ム	488	558	70	14.3	0.4	0.5	19
20 皮 革	666	914	248	37.2	0.6	0.8	20
21 窯 業 ・ 土 石	2,138	2,279	141	6.6	1.9	2.0	21
22 鉄 鋼	2,444	2,472	28	1.2	2.2	2.1	22
23 非 鉄 金 属	287	292	5	1.7	0.3	0.3	23
24 金 属	6,490	6,288	△ 202	△ 3.1	5.9	5.4	24
25 は ん 用 機 械	1,223	1,273	50	4.1	1.1	1.1	25
26 生 産 用 機 械	5,116	4,868	△ 248	△ 4.9	4.6	4.2	26
27 業 務 用 機 械	1,431	1,498	67	4.7	1.3	1.3	27
28 電子部品・デバイス	25,876	31,586	5,710	22.1	23.3	27.2	28
29 電 気 機 械	11,112	11,934	822	7.4	10.0	10.3	29
30 情 報 通 信 機 械	6,270	6,899	629	10.0	5.7	5.9	30
31 輸 送 用 機 械	2,783	2,849	67	2.4	2.5	2.5	31
32 そ の 他 の 製 品	852	810	△ 42	△ 4.9	0.8	0.7	32

(2) 従業者1人当たりの現金給与額

従業者1人当たりの現金給与額は、339.1万円で、前年に比べて37.3万円増加（前年比12.4%増）した。

業種別にみると、『電子部品・デバイス』が471.3万円（前年379.2万円、前年比24.3%増）が最も多く、次いで『パルプ・紙』の455.2万円（同402.7万円、同13.0%増）、『石油』の443.6万円（同482.4万円、同8.0%減）の順となった。

逆に少なかったのは、『繊維』の206.7万円（同206.0万円、同0.3%増）、『家具』の243.0万円（同229.8万円、同5.7%増）、『業務用機械』の243.1万円（同224.9万円、同8.1%増）などであった。

従業者規模別にみると、「300人以上」規模が506.4万円（前年375.1万円、35.0%増）で最も高かった。

(3) 労働分配率

労働分配率は総平均で44.0%となり、前年に比べて2.6ポイント低下した。

業種別にみると、『その他の製品』が71.2%（前年72.3%）で最も高く、次いで『繊維』の69.4%（同73.17%）、『業務用機械』の68.4%（同73.8%）の順となった。逆に低かったのは、『情報通信機械工業』の28.0%（同30.7%）、『石油』の32.4%（同28.2%）、『飲料・たばこ・飼料』の33.0%（同36.8%）などであった。

表15 従業者1人当たり現金給与額、労働分配率（従業者4人以上の事業所）
（単位：万円、%）

産 業	1人当たり 現金給与額		対 前 年		労働分配率	
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年
総 数	301.8	339.1	37.3	12.4	46.6	44.0
09 食 料 品	236.8	257.0	20.2	8.5	49.8	45.6
10 飲料・たばこ・飼料	377.7	333.7	△ 44.0	△ 11.6	36.8	33.0
11 織 維	206.0	206.7	0.7	0.3	73.1	69.4
12 木 材	300.1	317.3	17.2	5.7	50.2	58.5
13 家 具	229.8	243.0	13.2	5.7	56.1	64.7
14 パ ル プ ・ 紙	402.7	455.2	52.5	13.0	-	-
15 印 刷	288.7	273.0	△ 15.7	△ 5.4	56.1	57.1
16 化 学	397.0	355.0	△ 42.0	△ 10.6	50.8	33.3
17 石 油	482.4	443.6	△ 38.8	△ 8.0	28.2	32.4
18 プ ラ ス チ ッ ク	278.0	304.8	26.8	9.6	37.2	43.1
19 ゴ ム	256.7	283.3	26.6	10.4	64.3	56.1
20 皮 革	235.6	327.7	92.1	39.1	65.3	64.1
21 窯 業 ・ 土 石	309.0	329.8	20.8	6.7	43.5	44.7
22 鉄 鋼	357.8	375.7	17.9	5.0	53.0	60.7
23 非 鉄 金 属	350.3	355.8	5.5	1.6	57.2	42.6
24 金 属	320.5	325.1	4.6	1.4	43.9	47.6
25 は ん 用 機 械	386.2	400.3	14.1	3.7	52.0	53.6
26 生 産 用 機 械	349.5	355.8	6.3	1.8	63.1	60.6
27 業 務 用 機 械	224.9	243.1	18.2	8.1	73.8	68.4
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	379.2	471.3	92.1	24.3	36.2	35.7
29 電 気 機 械	306.8	338.4	31.6	10.3	38.6	40.1
30 情 報 通 信 機 械	291.4	365.4	74.0	25.4	30.7	28.0
31 輸 送 用 機 械	333.5	396.8	63.3	19.0	50.0	55.7
32 そ の 他 の 製 品	314.4	301.0	△ 13.4	△ 4.3	72.3	71.2
(従業者規模別)						
4 ～ 9 人	239.7	233.9	△ 5.8	△ 2.4	48.8	51.6
10 ～ 19 人	260.0	256.0	△ 4.0	△ 1.5	55.9	50.3
20 ～ 29 人	248.8	253.9	5.1	2.0	49.0	43.3
30 ～ 99 人	269.0	282.6	13.6	5.1	49.7	46.2
100 ～ 299 人	321.3	344.3	23.0	7.2	55.5	58.5
300 人 以 上	375.1	506.4	131.3	35.0	37.1	34.0

(注) 従業者1人当たりの現金給与額及び労働分配率は、現金給与総額から常用労働者に対する退職金、出向・派遣受入者に係る支払額、臨時雇用者に対する給与等を除いている。

7 原材料使用額等（従業者4人以上の事業所）

原材料使用額等は5,386億1,800万円で、前年に比べて333億3,200万円増加（前年比6.6%増）となった。

(1) 業種別の状況

業種別の構成をみると、『電子部品・デバイス』が1,450億7,700万円（構成比26.9%）で最も多く、次いで『食料品』の741億4,800万円（同13.8%）、『電気機械』の729億2,900万円（同13.5%）、の順となり、上位3業種で全体の54.2%を占めた。

前年に比べて増加したのは、『電子部品・デバイス』が351億6,700万円増加（前年比32.0%増）、『電気機械』の71億8,800万円増加（同10.9%増）など13業種だった。

一方、減少したのは、『飲料・たばこ・飼料』の109億6,400万円減少（同68.9%減）、『繊維』の41億3,700万円減少（同29.4%減）など11業種だった。

第16表 原材料使用額等（従業者4人以上の事業所）

（単位：百万円、%）

産 業 別	原材料使用額		対 前 年		構 成 比		
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年	
合 計	505,286	538,618	33,332	6.6	100.0	100.0	
09 食 料 品	76,921	74,148	△ 2,773	△ 3.6	15.2	13.8	09
10 飲料・たばこ・飼料	15,908	4,944	△ 10,964	△ 68.9	3.1	0.9	10
11 繊 維	14,070	9,933	△ 4,137	△ 29.4	2.8	1.8	11
12 木 材	10,298	12,128	1,830	17.8	2.0	2.3	12
13 家 具	1,512	1,138	△ 374	△ 24.7	0.3	0.2	13
14 パ ル プ ・ 紙	65,250	67,477	2,227	3.4	12.9	12.5	14
15 印 刷	4,289	4,236	△ 53	△ 1.2	0.8	0.8	15
16 化 学	637	1,217	580	91.0	0.1	0.2	16
17 石 油	2,987	2,977	△ 10	△ 0.3	0.6	0.6	17
18 プ ラ ス チ ッ ク	7,604	8,694	1,090	14.3	1.5	1.6	18
19 ゴ ム	506	639	133	26.2	0.1	0.1	19
20 皮 革	3,435	2,892	△ 543	△ 15.8	0.7	0.5	20
21 窯 業 ・ 土 石	9,311	9,961	650	7.0	1.8	1.8	21
22 鉄 鋼	8,448	8,135	△ 313	△ 3.7	1.7	1.5	22
23 非 鉄 金 属	972	1,054	82	8.4	0.2	0.2	23
24 金 属	17,692	17,905	213	1.2	3.5	3.3	24
25 は ん 用 機 械	2,480	2,681	201	8.1	0.5	0.5	25
26 生 産 用 機 械	9,660	13,125	3,465	35.9	1.9	2.4	26
27 業 務 用 機 械	5,521	5,037	△ 484	△ 8.8	1.1	0.9	27
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	109,910	145,077	35,167	32.0	21.8	26.9	28
29 電 気 機 械	65,741	72,929	7,188	10.9	13.0	13.5	29
30 情 報 通 信 機 械	63,410	62,722	△ 688	△ 1.1	12.5	11.6	30
31 輸 送 用 機 械 品	7,805	8,698	893	11.4	1.5	1.6	31
32 そ の 他 の 製 品	918	871	△ 47	△ 5.1	0.2	0.2	32

(2) 地域別の状況

市郡別にみると、市部が4,388億8,100万円(構成比81.5%)、郡部が997億3,800万円(同18.5%)となった。前年と比べると、市部で315億800万円増加(前年比7.7%増)、郡部では18億2,500万円増加(同1.9%増)となった。

表17 市郡別、従業者規模別原材料使用額等(従業者4人以上の事業所)
(単位:百万円、%)

区 分	原材料使用額等		対 前 年		構 成 比	
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年
県 計	505,286	538,618	33,332	6.6	100.0	100.0
(市 郡 別)						
市 部	407,373	438,881	31,508	7.7	80.6	81.5
鳥取市	218,055	239,891	21,836	10.0	43.2	44.5
米子市	94,530	104,751	10,221	10.8	18.7	19.4
倉吉市	47,145	49,286	2,141	4.5	9.3	9.2
境港市	47,643	44,953	△ 2,690	△ 5.6	9.4	8.3
郡 部	97,913	99,738	1,825	1.9	19.4	18.5
岩美郡	12,052	11,106	△ 946	△ 7.9	2.4	2.1
八頭郡	5,054	5,505	451	8.9	1.0	1.0
東伯郡	38,385	38,624	239	0.6	7.6	7.2
西伯郡	40,611	42,202	1,591	3.9	8.0	7.8
日野郡	1,810	2,302	492	25.0	0.4	0.4
(従業者規模別)						
4～9人	11,328	10,914	△ 414	△ 3.7	2.2	2.0
10～19人	19,830	19,416	△ 414	△ 2.1	3.9	3.6
20～29人	19,662	18,163	△ 1,499	△ 7.6	3.9	3.4
30～99人	94,078	89,538	△ 4,540	△ 4.8	18.6	16.6
100～299人	166,559	194,013	27,454	16.5	33.0	36.0
300人以上	193,829	206,575	12,746	6.6	38.4	38.4

(3) 原材料率

原材料率は総平均で64.1%となり、前年に比べて0.3ポイント上昇した。

業種別にみると、『その他の製品』が86.4%（前年41.9%）で最も高く、次いで『パルプ・紙』が84.7%（同85.47%）の順となった。逆に低かったのは、『ゴム』の37.1%（同37.2%）、『飲料・たばこ・飼料』の40.9%（同51.7%）などであった。

表 1 8 産業別原材料率（従業者 4 人以上の事業所）
（単位：万円、%）

産 業	産業別原材料率		対 前 年	
	平成 2 1 年	平成 2 2 年	増減ポイント	増減率
総 数	63.8	64.1	0.3	0.4
09 食 料 品	64.7	61.7	△ 3.0	△ 4.7
10 飲料・たばこ・飼料	51.7	40.9	△ 10.8	△ 20.9
11 織 維	58.2	51.5	△ 6.7	△ 11.6
12 木 材	65.1	70.9	5.8	8.8
13 家 具	52.9	51.0	△ 1.9	△ 3.7
14 パ ル プ ・ 紙	85.5	84.7	△ 0.8	△ 0.9
15 印 刷	46.1	48.2	2.1	4.5
16 化 学	58.5	60.2	1.6	2.8
17 石 油	68.7	73.4	4.7	6.9
18 プ ラ ス チ ッ ク	47.0	50.0	2.9	6.3
19 ゴ ム	37.2	37.1	△ 0.1	△ 0.3
20 皮 革	75.6	63.6	△ 11.9	△ 15.8
21 窯 業 ・ 土 石	64.0	64.3	0.2	0.3
22 鉄 鋼	60.7	60.5	△ 0.2	△ 0.3
23 非 鉄 金 属	61.9	57.1	△ 4.8	△ 7.8
24 金 属	52.0	54.8	2.8	5.4
25 は ん 用 機 械	49.3	49.9	0.5	1.1
26 生 産 用 機 械	52.0	60.6	8.7	16.7
27 業 務 用 機 械	71.5	67.4	△ 4.1	△ 5.8
28 電 子 部 品 ・ テ ー プ	57.2	60.2	2.9	5.1
29 電 気 機 械	67.6	67.8	0.2	0.3
30 情 報 通 信 機 械	74.2	69.4	△ 4.8	△ 6.5
31 輸 送 用 機 械	55.6	59.7	4.1	7.3
32 そ の 他 の 製 品	41.9	86.4	44.5	106.2

8 在庫額（従業員30人以上の事業所）

平成22年末の総在庫額は618億6,400万円で、年初633億5,200万円に比べて14億8,800万円減少した。

(1) 内訳の状況

年初と年末の内訳をみると、製造品在庫額(年末)が185億3,600万円で、(年初)224億200万円に比べて38億6,600万円減少し、半製品・仕掛品在庫額(年末)が206億1,800万円で、(年初)187億200万円に比べて19億1,600万円増加し、原材料・燃料在庫額(年末)が227億900万円で、(年初)222億4,900万円に比べて4億6,000万円の増加となった。

(2) 業種別の状況

業種別にみると、年初に比べて増加したのは、『電子部品・デバイス』の18億3,200万円、『生産用機械』の3億4,000万円など8業種だった。

一方、減少したのは、『食料品』の8億9,800万円、『情報通信機械』の8億6,600万円など14業種だった。

第19表 産業別在庫額（従業員4人以上の事業所）

（単位：百万円）

産 業 別	総在庫額		製造品在庫額		半製品・仕掛品在庫額		原材料・燃料在庫額		
	年末 在庫額	年間 増減額	年末 在庫額	年間 増減額	年末 在庫額	年間 増減額	年末 在庫額	年間 増減額	
合 計	61,864	△ 1,488	18,536	△ 3,866	20,618	1,916	22,709	460	
09 食 料 品	7,036	△ 898	2,481	△ 389	834	△ 52	3,721	△ 458	09
10 飲料・たばこ・飼料	301	42	269	106	13	△ 45	18	△ 19	10
11 織 維	952	△ 75	162	△ 2	323	△ 96	467	22	11
12 木 材	1,457	236	541	△ 33	255	51	661	218	12
13 家 具	191	△ 38	122	△ 35	20	△ 1	50	△ 2	13
14 パ ル プ ・ 紙	8,141	△ 782	4,299	△ 298	1,491	△ 323	2,350	△ 161	14
15 印 刷 学	248	△ 25	92	△ 10	75	△ 7	81	△ 9	15
16 化 学	—	—	—	—	—	—	—	—	16
17 石 油	—	—	—	—	—	—	—	—	17
18 プ ラ ス チ ッ ク	1,251	333	161	△ 74	449	179	641	229	18
19 ゴ ム	30	2	6	△ 3	12	3	12	1	19
20 皮 革	406	△ 85	134	△ 113	24	3	249	26	20
21 窯 業 ・ 土 石	260	△ 120	23	△ 18	223	△ 99	14	△ 3	21
22 鉄 鋼	1,250	△ 282	273	△ 47	770	△ 234	207	△ 1	22
23 非 鉄 金 属	374	92	52	△ 3	142	18	179	76	23
24 金 属	2,538	△ 361	371	△ 30	1,109	△ 91	1,058	△ 240	24
25 は ん 用 機 械	1,156	△ 155	30	△ 8	895	△ 47	231	△ 99	25
26 生 産 用 機 械	3,550	340	302	△ 354	2,857	760	391	△ 65	26
27 業 務 用 機 械	301	△ 20	29	0	34	△ 3	238	△ 17	27
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	17,823	1,832	4,061	△ 68	7,540	1,318	6,222	582	28
29 電 気 機 械	10,325	△ 623	4,281	△ 1218	2,294	517	3,751	77	29
30 情 報 通 信 機 械	3,126	△ 866	698	△ 1281	873	250	1,555	165	30
31 輸 送 用 機 械	996	△ 63	144	14	378	△ 181	474	104	31
32 そ の 他 の 製 品	152	28	5	△ 2	7	△ 4	139	34	32

9 有形固定資産投資総額（従業者30人以上の事業所）

有形固定資産投資総額は265億2,800万円で、前年に比べ96億3,500万円減少（前年比26.6%減）。

(1) 内訳の状況

内訳をみると、土地以外のものが245億9,500万円で36億700万円減少（前年比12.8%減）、土地が2億8,700万円増加（同26.0%増）、建設仮勘定が63億1,490万円減少（同92.1%減）であった。

第20表 資産別有形固定資産総額（従業者30人以上の事業所）

（単位：百万円、%）

区分	平成21年	平成22年	対前年	
			増減数	増減率
総数	36,163	26,528	△ 9,635	△ 26.6
土地以外のもの	28,202	24,595	△ 3,607	△ 12.8
土地	1,105	1,392	287	26.0
建設仮勘定増減額	6,855	541	△ 6,314	△ 92.1

(2) 業種別の状況

業種別の構成をみると、『電子部品・デバイス』が146億5,300万円（構成比55.2%）で最も多く、次いで『パルプ・紙』の24億9,900万円（同9.4%）、『食料品』の18億9,100万円（同7.1%）の順となり、上位3業種で全体の71.7%を占めた。

(3) 1事業所当たりの有形固定資産投資総額

1事業所当たりの有形固定資産投資総額は、1億1,193万円で、3,875万円減少（前年比25.7%減）した。

業種別にみると、『電子部品・デバイス』が4億8,842万円（前年5億4,034万円）で最も多く、次いで『パルプ・紙』の2億4,992万円（同2億659万円）、『木材』の2億3,272万円（同3億4,813万円）などの順となった。

表21 産業別有形固定資産投資総額（従業者30人以上の事業所）

（単位：百万円、%）

（単位：万円、%）

産業別	総額				1事業所当たり			
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年	増減数	増減率
合計	36,163	26,528	△ 9,635	△ 26.6	15,068	11,193	△ 3,875	△ 25.7
09 食料品	3,002	1,891	△ 1,111	△ 37.0	6,126	3,860	△ 2,266	△ 37.0
10 飲料・たばこ・飼料	1,475	983	△ 492	△ 33.3	24,579	19,654	△ 4,925	△ 20.0
11 繊維	218	186	△ 32	△ 14.5	906	885	△ 21	△ 2.3
12 木材	1,741	1,164	△ 577	△ 33.1	34,813	23,272	△ 11,541	△ 33.2
13 家具	-	X	-	-	-	X	-	-
14 パルプ・紙	2,066	2,499	433	21.0	20,659	24,992	4,333	21.0
15 印刷	40	54	14	33.5	405	544	139	34.3
16 化学	-	-	-	-	-	-	-	-
17 石油	-	-	-	-	-	-	-	-
18 プラスチック	135	208	73	54.3	1,124	1,730	606	53.9
19 ゴム	X	X	-	-	X	X	-	-
20 皮革	X	X	-	-	X	X	-	-
21 窯業・土石	X	X	-	-	X	X	-	-
22 鉄鋼	1,284	285	△ 999	△ 77.8	25,670	5,692	△ 19,978	△ 77.8
23 非鉄金属	-	X	-	-	-	X	-	-
24 金属	533	539	6	1.2	3,330	3,194	△ 136	△ 4.1
25 はん用機械	X	X	-	-	X	X	-	-
26 生産用機械	675	544	△ 131	△ 19.4	5,190	3,887	△ 1,303	△ 25.1
27 業務用機械	146	60	△ 86	△ 58.9	2,919	1,194	△ 1,725	△ 59.1
28 電子部品・デバイス	16,210	14,653	△ 1,557	△ 9.6	54,034	48,842	△ 5,192	△ 9.6
29 電気機械	7,266	1,862	△ 5,404	△ 74.4	26,912	7,161	△ 19,751	△ 73.4
30 情報通信機械	459	839	380	82.6	5,104	10,485	5,381	105.4
31 輸送用機械	222	209	△ 13	△ 5.7	3,168	2,992	△ 176	△ 5.6
32 その他の製品	X	X	-	-	X	X	-	-

10 工業用水・工業用地（従業者30人以上の事業所）

(1) 工業用水（1日当たり）

1日当たりの用水量は総量で17万6,729m³と、前年に比べて6,157m³増加（前年比3.6%増）となった。水源別にみると、その他の淡水が9万5,416m³（構成比54.0%）で最も多く、次いで井戸水の3万8,939m³（同22.0%）、工業用水道の2万8,440m³（同16.1%）の順となった。

用途別（海水を除く。）にみると、製品処理用水が12万4,988m³（同70.7%）で最も多く、次いで冷却・温調用水の2万8,919m³（同16.4%）、その他の1万2,515m³（同7.1%）の順となった。

業種別にみると、『パルプ・紙』が12万7,016m³（同71.9%）で最も多く、次いで『電子部品・デバイス』の1万8,801m³（同10.6%）、『食料品』の1万4,806m³（同8.4%）の順となった。

第22表 水源別・用途別1日当たり用水量（従業者30人以上の事業所）
（単位：m³、%）

区 分	平成21年	構成率	平成22年	構成率	対 前 年	
					増減数	増減率
総 数	170,572	100.0	176,729	100.0	6,157	3.6
水 源 別	—	100.0	—	100.0	—	—
工業用水道	42,504	24.9	28,440	16.1	△ 14,064	△ 33.1
上水道	7,855	4.6	8,846	5.0	991	12.6
井戸水	32,340	19.0	38,939	22.0	6,599	20.4
その他の淡水	83,512	49.0	95,416	54.0	11,904	14.3
回収水	4,361	2.6	5,088	2.9	727	16.7
海水	—	—	1	0.0	1	—
用 途 別	—	100.0	—	100.0	—	—
ボイラー	8,575	5.0	6,995	4.0	△ 1,580	△ 18.4
原料	2,738	1.6	3,312	1.9	574	21.0
製品処理	123,304	72.3	124,988	70.7	1,684	1.4
冷却・温調	24,659	14.5	28,919	16.4	4,260	17.3
その他	11,296	6.6	12,515	7.1	1,219	10.8

(2) 工業用地

事業所の敷地面積は494万7,200m²で、前年に比べて10万600m²減少（前年比2.0%減）した。

1事業所当たりの敷地面積は2万900m²で、前年に比べて100m²減少（同0.5%減）した。

建築面積は148万3,500m²で、前年に比べて48,100m²減少（同3.1%減）した。

延べ建築面積は198万1,400m²で、前年に比べて77,800m²減少（同3.8%減）した。

1事業所当たりの延べ建築面積は8,400m²で、前年に比べて200m²減少（同2.3%減）した。

第23表 工業用地面積の推移（従業者30人以上の事業所）
（単位：百m²、%）

区 分	平成21年	平成22年	対 前 年	
			増減数	増減率
総 数				
事業所数	240	237	△ 3	△ 1.3
敷地面積	50,478	49,472	△ 1,006	△ 2.0
建築面積	15,316	14,835	△ 481	△ 3.1
延べ建築面積	20,592	19,814	△ 778	△ 3.8
1事業所当たり				
敷地面積	210	209	△ 1	△ 0.5
建築面積	64	63	△ 1	△ 1.6
延べ建築面積	86	84	△ 2	△ 2.3

11 リース契約額及びリース支払額（従業者30人以上の事業所）

リース契約額は14億8,647万円で、リース支払額は49億4,841万円となった。

(1) 業種別の状況

業種別の構成をみると、契約額は『電子部品・デバイス』が10億2,651万円(構成比69.0%)で最も多く、次いで『食料品』の1億3,367万円(同9.0%)、『木材』の6,400万円(同4.3%)の順となり、上位3業種で全体の82.4%を占めた。

支払額も『電子部品・デバイス』が26億7,658万円(同54.1%)で最も多く、次いで『食料品』の4億9,772万円(同10.1%)、『パルプ・紙』の4億8,616万円(同9.8%)となった。

表2-4 産業別リース契約額及び支払額(従業者30人以上の事業所)

産 業 別	リ ー ス 契 約 額						リ ー ス 支 払 額						産 業
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	構成比		平成21年	平成22年	増減数	増減率	構成比		
					平成21年	平成22年					平成21年	平成22年	
合 計	177,511	148,647	△ 28,864	△ 16.3	100.0	100.0	598,611	494,841	△ 103,770	△ 17.3	100.0	100.0	
09 食 料 品	32,045	13,367	△ 18,678	△ 58.3	18.1	9.0	52,254	49,772	△ 2,482	△ 4.7	8.7	10.1	09
10 飲料・たばこ・飼料	—	—	—	—	—	—	9,152	6,747	△ 2,405	△ 26.3	1.5	1.4	10
11 織 維	7,874	463	△ 7,411	△ 94.1	4.4	0.3	8,472	7,060	△ 1,412	△ 16.7	1.4	1.4	11
12 木 材	90	6,400	6,310	7011.1	0.1	4.3	5,141	3,984	△ 1,157	△ 22.5	0.9	0.8	12
13 家 具	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	13
14 パ ル プ ・ 紙	19,553	753	△ 18,800	△ 96.1	11.0	0.5	56,903	48,616	△ 8,287	△ 14.6	9.5	9.8	14
15 印 刷	1,598	661	△ 937	△ 58.6	0.9	0.4	3,217	2,619	△ 598	△ 18.6	0.5	0.5	15
16 化 学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16
17 石 油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17
18 プ ラ ス チ ッ ク	72	297	225	312.5	0.0	0.2	20,532	19,610	△ 922	△ 4.5	3.4	4.0	18
19 ゴ ム	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	19
20 皮 革	X	—	X	X	X	—	X	X	X	X	X	X	20
21 窯 業 ・ 土 石	X	—	X	X	X	—	X	X	X	X	X	X	21
22 鉄 鋼	2,324	3,351	1,027	44.2	1.3	2.3	9,231	5,692	△ 3,539	△ 38.3	1.5	1.2	22
23 非 鉄 金 属	X	—	X	X	X	—	X	—	X	X	X	—	23
24 金 属	8,084	2,476	△ 5,608	△ 69.4	4.6	1.7	36,088	28,211	△ 7,877	△ 21.8	6.0	5.7	24
25 は ん 用 機 械	X	397	X	X	X	0.3	X	2,551	X	X	X	0.5	25
26 生 産 用 機 械	6,906	3,846	△ 3,060	△ 44.3	3.9	2.6	15,940	12,073	△ 3,867	△ 24.3	2.7	2.4	26
27 業 務 用 機 械	—	—	—	—	—	—	753	409	△ 344	△ 45.7	0.1	0.1	27
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	90,803	102,651	11,848	13.0	51.2	69.1	343,571	267,658	△ 75,913	△ 22.1	57.4	54.1	28
29 電 気 機 械	1,481	1,650	169	11.4	0.8	1.1	22,846	21,737	△ 1,109	△ 4.9	3.8	4.4	29
30 情 報 通 信 機 械	4,238	6,382	2,144	50.6	2.4	4.3	1,554	6,623	5,069	326.2	0.3	1.3	30
31 輸 送 用 機 械	1,331	4,822	3,491	262.3	0.7	3.2	7,084	8,544	1,460	20.6	1.2	1.7	31
32 そ の 他 の 製 品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	32

(2) 地域別の状況

市郡別にみると、契約額は市部が13億7,363万円(構成比92.4%)、郡部が1億1,284万円(同7.6%)となった。支払額は市部が43億5,530万円(同88.0%)、郡部が5億9,311万円(同12.0%)となった。

表25 市群別、従業者規模別リース契約額・支出額(従業者30人以上の事業所)
(単位:万円、%)

(単位:万円、%)

区 分	契 約 額		対 前 年		構 成 比		支 出 額		対 前 年		構 成 比	
	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	増減数	増減率	平成21年	平成22年
県 計	177,511	148,647	△ 28,864	△ 16.3	100.0	100.0	598,611	494,841	△ 103,770	△ 17.3	100.0	100.0
(市 郡 別)												
市 部	151,570	137,363	△ 14,207	△ 9.4	85.4	92.4	531,596	435,530	△ 96,066	△ 18.1	88.8	88.0
鳥取市	54,314	53,619	△ 695	△ 1.3	30.6	36.1	263,471	196,652	△ 66,819	△ 25.4	44.0	39.7
米子市	15,904	25,575	9,671	60.8	9.0	17.2	133,146	126,987	△ 6,159	△ 4.6	22.2	25.7
倉吉市	74,683	53,083	△ 21,600	△ 28.9	42.1	35.7	112,484	94,175	△ 18,309	△ 16.3	18.8	19.0
境港市	6,669	5,086	△ 1,583	△ 23.7	3.8	3.4	22,495	17,716	△ 4,779	△ 21.2	3.8	3.6
郡 部	25,941	11,284	△ 14,657	△ 56.5	14.6	7.6	67,015	59,311	△ 7,704	△ 11.5	11.2	12.0
岩美郡	135	182	47	34.8	0.1	0.1	1,042	304	△ 738	△ 70.8	0.2	0.1
八頭郡	1,380	899	△ 481	△ 34.9	0.8	0.6	3,298	4,914	1,616	49.0	0.6	1.0
東伯郡	18,233	3,680	△ 14,553	△ 79.8	10.3	2.5	35,884	28,586	△ 7,298	△ 20.3	6.0	5.8
西伯郡	4,627	6,229	1,602	34.6	2.6	4.2	26,095	24,567	△ 1,528	△ 5.9	4.4	5.0
日野郡	1,566	294	△ 1,272	25.0	0.9	0.2	696	940	244	25.0	0.1	0.2
(従業者規模別)												
30～49人	7,396	16,526	9,130	123.4	4.2	11.1	38,104	35,877	△ 2,227	△ 5.8	6.4	7.3
50～99人	27,798	14,111	△ 13,687	△ 49.2	15.7	9.5	71,227	68,379	△ 2,848	△ 4.0	11.9	13.8
100～299人	52,040	28,870	△ 23,170	△ 44.5	29.3	19.4	225,333	195,284	△ 30,049	△ 13.3	37.6	39.5
300人以上	90,277	89,140	△ 1,137	△ 1.3	50.9	60.0	263,947	195,301	△ 68,646	△ 26.0	44.1	39.5

12 全国における鳥取県の位置（従業者4人以上の事業所）

鳥取県の全国に占める割合及び順位（昨年と順位の変動はなし。）。

- (1) 事業所数 0.42%、第47位
- (2) 従業者数 0.45%、第45位。
- (3) 製造品出荷額等 0.29%、第45位。
- (4) 付加価値額 0.29%、第45位。
- (5) 現金給与総額 0.30%、第45位。
- (6) 原材料使用額等 0.30%、第45位。

表26 全国における鳥取県の位置（従業者4人以上の事業所）

区 分	鳥 取 県		全 国		全 国 に 占める割合(%)		全 国 順 位		鳥取県/全国 (全国=100)	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
事業所数	977	951	235,817	224,403	0.41	0.42	47	47	—	—
従業者数(人)	34,557	34,273	7,735,789	7,663,847	0.45	0.45	45	45	—	—
製造品出荷額等(百万円)	853,198	842,771	265,259,031	289,107,683	0.32	0.29	45	45	—	—
付加価値額(百万円)	237,906	264,326	80,319,365	90,667,210	0.30	0.29	45	45	—	—
現金給与総額(百万円)	110,933	116,226	32,825,059	32,719,540	0.34	0.30	45	45	—	—
原材料使用額等(百万円)	505,286	538,618	163,953,552	180,325,724	0.31	0.30	45	45	—	—
1事業所当たりの従業者数(人)	35.4	36.0	32.8	34.2	—	—	21	23	107.8	105.3
1事業所当たりの製造品出荷額等(万円)	87,328	88,619	112,485	128,834	—	—	28	33	77.6	68.8
1事業所当たりの付加価値額(万円)	24,351	27,794	34,060	40,404	—	—	34	35	71.5	68.8
1事業所当たりの現金給与総額(万円)	11,354	12,221	13,920	14,581	—	—	29	27	81.6	83.8
従業者1人当たりの製造品出荷額等(万円)	2,469	2,459	3,429	3,772	—	—	33	40	72.0	65.2
従業者1人当たりの付加価値額(労働生産性)(万円)	688	771	1,038	1,183	—	—	41	43	66.3	65.2
従業者1人当たりの現金給与総額(万円)	321	339	424	427	—	—	42	39	75.7	79.4

※ この表の付加価値額は、従業者29人以下の事業所は粗付加価値額を付加価値額とみなして合算した数字。

(注) 表26における算式は、次のとおりである。
 ただし、「1事業所当たりの製造品出荷額等」、「従業者1人当たりの製造品出荷額等」については、本来、分母から「消費税を除く内国消費税額」と「推計消費税額」を控除すべきであるが、本資料作成時点で全国の「内国消費税額」及び「推計消費税額」が非公表であるため、便宜上、控除を行っていない。

$$1 \text{ 事業所当たりの従業者数} = \frac{\text{常用労働者数} + \text{個人事業主及び無給家族従業者数}}{\text{事業所数}}$$

$$1 \text{ 事業所当たりの製造品出荷額等} = \frac{\text{製造品出荷額等}}{\text{事業所数}}$$

$$1 \text{ 事業所当たりの付加価値額} = \frac{\text{付加価値額}}{\text{事業所数}}$$

$$1 \text{ 事業所当たりの現金給与総額} = \frac{\text{現金給与総額}}{\text{事業所数}}$$

$$\text{従業者 1 人当たりの製造品出荷額等} = \frac{\text{製造品出荷額等}}{\text{常用労働者数} + \text{個人事業主及び無給家族従業者数}}$$

$$\text{従業者 1 人当たりの付加価値額 (労働生産性)} = \frac{\text{付加価値額}}{\text{常用労働者数} + \text{個人事業主及び無給家族従業者数}}$$

$$\text{従業者 1 人当たりの現金給与総額} = \frac{\text{現金給与総額}}{\text{常用労働者数} + \text{個人事業主及び無給家族従業者数}}$$

(7) 業種別の特徴

鳥取県の製造業の特徴を、業種別構成比の全国の構成比に対する偏在の程度を示す特化係数でみると、事業所数については、『電子部品・デバイス』の 2.742、『石油』の 2.476、『電気機械』の 1.976などが高く、逆に、『化学』の 0.199、『非鉄金属』の 0.324、『はん用機械』の 0.367などが低かった。

また、従業者数については、『電子部品・デバイス』の 3.314、『皮革』の 2.520、『繊維』の 2.111などが高く、逆に、『化学』の 0.047、『非鉄金属』の 0.128、『輸送用機械』の 0.169などが低かった。

さらに、製造品出荷額等についてみると、『電子部品・デバイス』の 4.987、『皮革』の 4.311、『パルプ・紙』の 3.843などが高く、逆に、『化学』の 0.026、『非鉄金属』の 0.071、『輸送用機械』の 0.092などが低かった。

第 27 表 産業別特価係数（4人以上の事業所）

産 業 別	事業所数	従業者数	製造品出荷額等	
09 食 料 品	1.566	1.446	1.710	09
10 飲料・たばこ・飼料	1.827	1.196	0.431	10
11 織 維	1.261	2.111	1.747	11
12 木 材	1.608	1.718	2.750	12
13 家 具	0.892	0.576	0.486	13
14 パ ル プ ・ 紙	1.341	1.700	3.843	14
15 印 刷	0.729	0.650	0.499	15
16 化 学	0.199	0.047	0.026	16
17 石 油	2.476	0.661	0.093	17
18 プ ラ ス チ ッ ク	0.519	0.514	0.547	18
19 ゴ ム	0.679	0.376	0.195	19
20 皮 革	0.559	2.520	4.311	20
21 窯 業 ・ 土 石	1.067	0.618	0.743	21
22 鉄 鋼	0.421	0.669	0.254	22
23 非 鉄 金 属	0.324	0.128	0.071	23
24 金 属	0.635	0.747	0.912	24
25 は ん 用 機 械	0.367	0.219	0.183	25
26 生 産 用 機 械	0.692	0.563	0.544	26
27 業 務 用 機 械	0.568	0.650	0.373	27
28 電子部品・デバイス	2.742	3.314	4.987	28
29 電 気 機 械	1.976	1.629	2.440	29
30 情 報 通 信 機 械	1.784	1.987	2.465	30
31 輸 送 用 機 械	0.382	0.169	0.092	31
32 そ の 他 の 製 品	0.869	0.384	0.199	32

鳥取県の産業中分類別の構成比

(注) 産業別特化係数 = $\frac{\text{鳥取県の産業中分類別の構成比}}{\text{全国の産業中分類別の構成比}}$

図9 産業別製造品出荷額等の特化係数
(従業者4人以上の事業所)

